

平成 27 年度 群馬県立館林美術館年報

2015.4 – 2016.3



Gunma Museum of Art,
Tatebayashi

群馬県立館林美術館

目次

・展覧会 p.3

A 展覧会一覧	p.3
B 企画展示記録	p.4
C コレクション展示記録	p.39
D 彫刻家のアトリエ(別館)展示記録	p.44
E 入館者数一覧表	p.45

・教育普及 p.46

A 講演会・アーティストトーク	p.46
B 作品解説会・レクチャー・キッズウォーク・ポンポン・ツアー	p.47
C ワークショップ	p.48
D 創作体験コーナー みんなのアトリエ	p.49
E たてび☆びじゅつ部	p.50
F たてび土曜レクチャー	p.51
G コンサート・映画上映会	p.51
H 他団体への協力	p.52
I 学校連携その他	p.53
J 地域に開かれた美術館づくり	p.57
K 刊行物	p.59
L ボランティア	p.60
M 友の会	p.60

・所蔵資料 p.61

A 美術作品	p.61
B 図書資料その他	p.66

・関係者および職員名簿 p.67

展覧会

A 展覧会一覧

(1)企画展示

展示名	会期	会場	内容
山名文夫とアール・デコ —資生堂スタイルの確立者—	4/25～6/28	展示室2～4	化粧品会社資生堂のデザイナーとして活躍した山名文夫の作品世界と資生堂のデザイン・スタイルを、アール・デコの切り口から紹介した。資生堂企業資料館の所蔵品を中心に約270点の資料を展示した。
リサ・ラーソン展 ～北欧スウェーデンより、ネコや鳥や少女の陶芸～	7/18～8/30	展示室2～4	スウェーデンの陶芸家リサ・ラーソンの活動を振り返る日本初の巡回展。1950年代から近年までの代表的なプロダクト作品とユニークピース約230点とともに、制作道具や写真、映像により制作や生活スタイルも紹介した。
舟越桂 私の中的スフィンクス	9/19～12/6	展示室2～4	日本を代表する木彫家、舟越桂の大規模な回顧展。初期から最新作までの流れをふまえつつ、自由な発想が生んだ異形の姿が展開する創造の醍醐味を、彫刻、素描、版画あわせて約70点によって紹介した。
ガンドゥール美術財団の至宝 古代エジプト美術の世界展—魔術と神秘—	1/5～3/21	展示室2～4	世界屈指の古代エジプト美術コレクションで知られるスイス・ジュネーヴのガンドゥール美術財団の所蔵品を日本で初公開する巡回展。魔術をキーワードに、石碑やレリーフ、アミュレット(お守り)、宝飾品など約150点を紹介した。

(2)コレクション展示

展示名	会期	会場	内容
近現代の彫刻Ⅰ —彫刻のかたち、いろいろ	4/25～6/28	展示室1	フランソワ・ボンボン、フェルナンド・ボテロ、ブルーノ・ロメダなど、近現代の彫刻を「かたち」に着目して展示。
近現代の彫刻Ⅱ —空間とともに見る彫刻	7/18～8/30	展示室1	バリー・フラナガン、土谷武、岡本健彦など、近現代の彫刻を作品と作品の置かれる空間との関係を意識して展示。
近現代の彫刻Ⅲ 彫刻の大きさと印象	9/19～12/6	展示室1	フランソワ・ボンボン、鶴岡政男、保田春彦など、近現代の彫刻を作品の大きさとその印象をテーマに展示。
近現代の彫刻Ⅳ 彫刻に当たる光	1/5～3/21	展示室1	チャーナ・オルロフや和南城孝志、森亮太など、近現代の彫刻を作品にあたる光に着目して展示。

1. 山名文夫とアール・デコ —資生堂スタイルの確立者—

会期 平成27年4月25日(土)～6月28日(日)
 前期:4月25日(土)～5月24日(日)
 後期:5月26日(火)～6月28日(日)
 会場 展示室2、3、4
 主催 群馬県立館林美術館
 特別協力 株式会社資生堂
 観覧料 一般820(650)円 大高生410(320)円
 ()内は、20名以上の団体割引料金

化粧品会社資生堂のデザイナーとして活躍した山名文夫(やまな あやお、1897～1980)は、大正から昭和初期の時代にフランスのアール・デコ様式の挿絵と出会って大きく影響を受け、その後、資生堂の商品や広告を始めとする様々な媒体で気品溢れる女性像を生み出し、モダンなデザインを確立した。

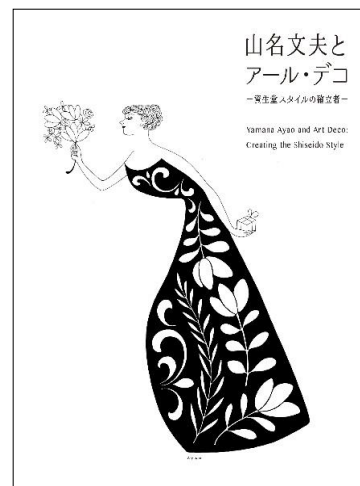
本展では、この山名の仕事を決定的に方向づけた「アール・デコ」という切り口から彼の作品世界と資生堂のデザイン・スタイルを、4つの章に分けて紹介した。まず第1章では、資生堂入社以前のプラトン社で手がけた雑誌『女性』『苦楽』の挿絵をフランスのファッション・プレートと共に紹介し、竹久夢二の影響を受けて日本的な女性像を描いていた山名が、西洋の香り漂う女性像を

創出する過程を確認した。第2章では、戦前の資生堂の商品パッケージや『花椿』の冊子などを取り上げ、アール・デコのモダンな感覚から誕生した山名の「モダン・ガール」の数々をたどった。そして第3章で、戦後の新聞や雑誌広告の仕事を通して、装飾的な線描と余白を活かしたレイアウトによる、洗練を極めた「山名様式」に迫った。さらに第4章では、矢部季(やべ すえ)、沢令花(さわ れいか)、前田貢(まえだ みつぐ)、川島理一郎(かわしまりいちろう)、仲條正義(なかじょう まさよし)など、資生堂の他のデザイナーが、戦前から近年まで手がけた制作物を紹介した。化粧品のパッケージ、包装紙、ポスター、パンフレット、資生堂パーラーの食器などの豊富な資料により、山名を始めとする資生堂のデザイナーたちが早くからデザイン・アイデンティティーの一つとしてアール・デコを吸収しつつ、新たな価値創造を展開してきた歴史を紐解いた。

資生堂企業資料館の所蔵品を中心に、前後期合わせて約270点の資料を通して、山名文夫の生み出したモダン・デザインに脈々と受け継がれるアール・デコの精神と時代の空気を総合的に紹介することができた。



ポスター



図録



ジュニアガイド

出品目録

第1章 アール・デコ様式との邂逅 ―プラトン社での仕事―

No.	作家名	作品名	制作年	技法/材質	寸法 (cm)	所蔵	前期	後期
1	山名 文夫	『CHOCOLATE』口絵 原画	1917	墨・紙	18.0×14.4	資生堂企業資料館	○	
2	山名 文夫	『CHOCOLATE』口絵 原画	1917	墨・紙	13.3×12.7	資生堂企業資料館	○	
3	山名 文夫	『CHOCOLATE』扉絵 原画	1917	墨・紙	11.6×7.7	資生堂企業資料館		○
4	山名 文夫	『CHOCOLATE』口絵 原画	1918	墨・紙	13.3×12.7	資生堂企業資料館		○
5	山名 文夫	『CHOCOLATE』口絵	1919	木版・紙	16.0×11.8	資生堂企業資料館	○	○
6		『CHOCOLATE』(大正8年1月18日号)	1919	印刷・紙	18.0×14.4	資生堂企業資料館	○	○
7		『女性』第6巻第6号(大正13年12月号) オーブリー・ピアズリー「ワグナーを聴く人」	1924	印刷・紙	22.4×15.3×1.1	神奈川県立神奈川近代文学館		○
8	山名 文夫	タイトル不詳 挿画 原画	1926	墨・紙	17.5×11.4	資生堂企業資料館	○	
9		『女性』第3巻第3号(大正12年3月号)	1923	印刷・紙	22.5×15.2×0.9	神奈川県立神奈川近代文学館	○	
10	フランシスコ・ジャヴィエール・ゴゼ	「劇場にて:パカンの舞台用マント」 『ガゼット・デュ・ボン・トン』1912年7月号、No.1、Pl.7	1912	ポショワール・紙	24.4×19.1	文化学園大学図書館	○	
11	山名 文夫	『女性』第4巻第1号(大正12年7月号) 挿画	1923	印刷・紙	22.2×14.5	資生堂企業資料館	○	○
12		『女性』第4巻第2号(大正12年8月号)	1923	印刷・紙	22.3×15.4×1.0	神奈川県立神奈川近代文学館		○
13	エドワルド・ガルシア・ベニート	「黄金の彫像」 『ガゼット・デュ・ボン・トン』1922年、II巻、No.8、p.231	1922	ポショワール・紙	23.9×17.5	文化学園大学図書館	○	○
14		『女性』第5巻第2号(大正13年2月号)	1924	印刷・紙	22.4×15.3×1.1	神奈川県立神奈川近代文学館	○	
15	ピエール・ブリソー	「プロローグあるいは城のお芝居」 『ガゼット・デュ・ボン・トン』1920年7月号、No.6、Pl.40	1920	ポショワール・紙	24.4×19.3	文化学園大学図書館	○	
16		『女性』第5巻第3号(大正13年3月号)	1924	印刷・紙	22.4×15.4×0.9	神奈川県立神奈川近代文学館		○
17	ジョルジュ・バルビエ	「パームビーチにて:ウォルトのスーツ」 『ガゼット・デュ・ボン・トン』1921年、I巻、No.5、Pl.40	1921	ポショワール・紙	23.9×19.0	文化学園大学図書館	○	○
18	表紙:山名 文夫	『女性』第6巻第3号(大正13年9月号)	1924	印刷・紙	22.4×15.1×1.1	神奈川県立神奈川近代文学館	○	
19	山名 文夫	『女性』第8巻第6号(大正14年12月号) 扉絵 原画	1925	墨・紙	21.6×15.4	資生堂企業資料館	○	
20	山名 文夫	『女性』第9巻第2号(大正15年2月号) 扉絵 原画	1926	墨・紙	20.5×13.9	資生堂企業資料館		○
21	扉絵:山名 文夫	『女性』第10巻第6号(大正15年12月号)	1926	印刷・紙	22.1×15.2×1.1	神奈川県立神奈川近代文学館	○	
22	ジノヴィウ	「嵐:ヨット乗りのための衣装」 『ガゼット・デュ・ボン・トン』1920年7月号、No.6、Pl.42	1920	ポショワール・紙	24.6×19.3	文化学園大学図書館	○	○
23	山名 文夫	『女性』のための扉絵 原画	1926	墨・紙	23.8×5.5	資生堂企業資料館	○	
24		『女性』第11巻第2号(昭和2年2月号)	1927	印刷・紙	22.5×15.2×1.1	神奈川県立神奈川近代文学館		○
25	ルイ・ストランプル	「黒い煙:レドファーンのイヴニングドレス」 『ガゼット・デュ・ボン・トン』1914年3月号、No.3、Pl.29	1914	ポショワール・紙	24.5×19.2	文化学園大学図書館	○	○
26	表紙:山六郎	『女性』第11巻第3号(昭和2年3月号)	1927	印刷・紙	22.1×15.0×1.2	神奈川県立神奈川近代文学館		○
27	ジョルジュ・バルビエ	「ロザリンド:ウォルトのイヴニングドレス」 『ガゼット・デュ・ボン・トン』1922年、II巻、No.10、Pl.75	1922	ポショワール・紙	23.9×17.4	文化学園大学図書館	○	○
28	表紙:山六郎	『女性』第11巻第6号(昭和2年6月号)	1927	印刷・紙	22.1×15.0×1.1	神奈川県立神奈川近代文学館	○	

No.	作家名	作品名	制作年	技法/材質	寸法(cm)	所蔵	前期 後期
29	ジョルジュ・バルビエ	「素晴らしい小さな魚・・・夏のドレス」 『ガゼット・デュ・ボン・トン』 1914年5月号、No.5、Pl.44	1914	ポショワール・紙	24.6×19.3	文化学園大学図書館	○
30	山名文夫	『女性』第12巻第4号(昭和2年10月号) 扉絵	1927	印刷・紙	16.5×10.4	資生堂企業資料館	○
31	山名文夫	『女性』第13巻第3号(昭和3年3月号) 山田邦子「片目のソロモン」 挿画 原画	1928	墨・紙	13.9×9.5	資生堂企業資料館	○
32	表紙:山名文夫	『苦楽』第2巻第3号(大正13年9月号)	1924	印刷・紙	22.0×14.7×1.8	神奈川県立神奈川近代文学館	○
33	表紙:山名文夫	『苦楽』第2巻第5号(大正13年11月号)	1924	印刷・紙	22.1×14.9×1.8	神奈川県立神奈川近代文学館	○
34	表紙:山名文夫	『苦楽』第2巻第6号(大正13年12月号)	1924	印刷・紙	22.0×14.9×1.8	神奈川県立神奈川近代文学館	○
35	表紙:山名文夫	『苦楽』第3巻第1号(大正14年1月号)	1925	印刷・紙	22.2×14.8×2.9	神奈川県立神奈川近代文学館	○
36	表紙:山名文夫	『苦楽』第3巻第2号(大正14年2月号)	1925	印刷・紙	22.0×15.0×1.7	神奈川県立神奈川近代文学館	○
37	表紙:山名文夫	『苦楽』第3巻第3号(大正14年3月号)	1925	印刷・紙	22.2×15.0×1.7	神奈川県立神奈川近代文学館	○
38	表紙:山名文夫	『苦楽』第3巻第4号(大正14年4月号)	1925	印刷・紙	22.1×14.9×2.4	神奈川県立神奈川近代文学館	○
39	表紙:山名文夫	『苦楽』第3巻第5号(大正14年5月号)	1925	印刷・紙	22.9×15.0×1.7	神奈川県立神奈川近代文学館	○
40	表紙:山名文夫	『苦楽』第3巻第6号(大正14年6月号)	1925	印刷・紙	22.0×15.0×1.8	神奈川県立神奈川近代文学館	○
41	表紙:山名文夫	『苦楽』第4巻第1号(大正14年7月号)	1925	印刷・紙	22.0×15.0×2.1	神奈川県立神奈川近代文学館	○
42	表紙:山名文夫	『苦楽』第4巻第2号(大正14年8月号)	1925	印刷・紙	21.8×15.2×1.8	神奈川県立神奈川近代文学館	○
43	表紙:山名文夫	『苦楽』第4巻第3号(大正14年9月号)	1925	印刷・紙	22.0×15.1×1.7	神奈川県立神奈川近代文学館	○
44	表紙:山名文夫	『苦楽』第4巻第5号(大正14年11月号)	1925	印刷・紙	22.1×14.8×1.7	神奈川県立神奈川近代文学館	○
45	表紙:山名文夫	『苦楽』第4巻第6号(大正14年12月号)	1925	印刷・紙	22.1×15.2×1.6	神奈川県立神奈川近代文学館	○
46	表紙:山名文夫	『苦楽』第5巻第1号(大正15年1月号)	1926	印刷・紙	22.0×14.7×1.9	神奈川県立神奈川近代文学館	○
47	表紙:山名文夫	『苦楽』第5巻第2号(大正15年2月号)	1926	印刷・紙	22.1×14.7×1.8	神奈川県立神奈川近代文学館	○
48	表紙:山名文夫	『苦楽』第5巻第3号(大正15年3月号)	1926	印刷・紙	21.8×15.2×1.7	神奈川県立神奈川近代文学館	○
49	表紙:山名文夫	『苦楽』第5巻第4号(大正15年4月号)	1926	印刷・紙	22.3×15.1×1.9	神奈川県立神奈川近代文学館	○
50	表紙:山名文夫	『苦楽』第5巻第5号(大正15年5月号)	1926	印刷・紙	22.1×15.3×1.8	神奈川県立神奈川近代文学館	○
51	表紙:山名文夫	『苦楽』第5巻第6号(大正15年6月号)	1926	印刷・紙	22.2×15.0×1.6	神奈川県立神奈川近代文学館	○
52	表紙:山名文夫	『苦楽』第5巻第7号(大正15年7月号)	1926	印刷・紙	22.0×15.0×1.9	神奈川県立神奈川近代文学館	○
53	表紙:山名文夫	『苦楽』第5巻第8号(大正15年8月号)	1926	印刷・紙	22.0×15.0×1.7	神奈川県立神奈川近代文学館	○
54	表紙:山名文夫	『苦楽』第5巻第11号(大正15年11月号)	1926	印刷・紙	22.0×15.1×1.6	神奈川県立神奈川近代文学館	○
55	山名文夫	『苦楽』第6巻第2号(昭和2年2月号) 扉絵 原画	1927	墨・紙	19.1×13.0	資生堂企業資料館	○
56	山名文夫	『苦楽』第6巻第9号(昭和2年9月号) 扉絵	1927	印刷・紙	19.0×12.1	資生堂企業資料館	○
57	表紙:山名文夫	『苦楽』第6巻第10号(昭和2年10月号)	1927	印刷・紙	21.7×15.0×1.8	神奈川県立神奈川近代文学館	○
58	山名文夫	『苦楽』第6巻第10号(昭和2年10月号) 表紙 原画	1927	鉛筆、水彩・紙	22.7×15.3	資生堂企業資料館	○

No.	作家名	作品名	制作年	技法/材質	寸法(cm)	所蔵	前期 後期
59	山名文夫	『苦楽』第6巻第10号(昭和2年10月号) 扉絵 原画	1927	墨・紙	19.8×13.0	資生堂企業資料館	○
60	表紙:山名文夫	『苦楽』第6巻第11号(昭和2年11月号) 表紙 原画	1927	印刷・紙	22.0×15.0×1.7	神奈川県立神奈川近代文学館	○
61	山名文夫	『苦楽』第6巻第11号(昭和2年11月号) 表紙 原画	1927	鉛筆、水彩・紙	18.2×15.0	資生堂企業資料館	○
62	表紙:山名文夫	『苦楽』第6巻第12号(昭和2年12月号) 表紙 原画	1927	印刷・紙	22.0×14.6×1.6	神奈川県立神奈川近代文学館	○
63	山名文夫	『苦楽』第6巻第12号(昭和2年12月号) 表紙 原画	1927	鉛筆、水彩・紙	22.0×15.1	資生堂企業資料館	○
64	表紙:山名文夫	『苦楽』第7巻第1号(昭和3年1月号) 表紙 原画	1928	印刷・紙	21.7×15.0×2.8	神奈川県立神奈川近代文学館	○
65	山名文夫	『苦楽』第7巻第1号(昭和3年1月号) 表紙 原画	1928	鉛筆、水彩、墨・紙	22.0×15.0	資生堂企業資料館	○
66	山名文夫	『苦楽』第7巻第1号(昭和3年1月号) 扉絵 原画	1928	墨・紙	19.0×12.3	資生堂企業資料館	○
67	表紙:山名文夫	『苦楽』第7巻第2号(昭和3年2月号) 表紙 原画	1928	印刷・紙	21.7×14.8×1.7	神奈川県立神奈川近代文学館	○
68	山名文夫	『苦楽』第7巻第2号(昭和3年2月号) 表紙 原画	1928	鉛筆、水彩、墨・紙	22.1×15.0	資生堂企業資料館	○
69	表紙:山名文夫	『苦楽』第7巻第3号(昭和3年3月号) 表紙 原画	1928	印刷・紙	21.9×14.8×1.7	神奈川県立神奈川近代文学館	○
70	山名文夫	『苦楽』第7巻第3号(昭和3年3月号) 表紙 原画	1928	鉛筆、水彩、墨・紙	18.8×15.1	資生堂企業資料館	○
71	表紙:山名文夫	『苦楽』第7巻第4号(昭和3年4月号) 表紙 原画	1928	印刷・紙	21.7×15.1×2.1	神奈川県立神奈川近代文学館	○
72	山名文夫	『苦楽』扉絵	不詳	印刷・紙	19.1×12.1	資生堂企業資料館	○
73	山名文夫	『女性のカット』装幀 原画	1928	水彩、墨・紙	24.1×20.5	資生堂企業資料館	○
74	山六郎、山名文夫	『女性のカット』	1928	印刷・紙	22.5×15.2×2.0	資生堂企業資料館	○ ○
75	山名文夫 他	スクラップブック	不詳		28.5×20.3×2.8	資生堂企業資料館	○ ○
76	山名文夫 他	スクラップブック	不詳		30.5×23.5×2.8	資生堂企業資料館	○ ○
77	山名文夫	タイトル不詳	1926	印刷・紙	14.0×11.8	資生堂企業資料館	○ ○
78	山名文夫	『サンデー毎日』挿画	1928	印刷・紙	15.9×7.0	資生堂企業資料館	○ ○
79	山名文夫	『広告界』『ネオロココ派 創作帯陳列会』	1929	印刷・紙	26.1×17.6	資生堂企業資料館	○ ○
80	山名文夫	タイトル不詳 原画	1927	墨・紙	9.5×7.5	資生堂企業資料館	○
81	山名文夫	習作	1928	鉛筆、水彩・紙	23.2×19.7	資生堂企業資料館	○
82	山名文夫	『主情派美術展覧会目録』挿画 原画	1928	鉛筆、墨・紙	24.0×18.5	資生堂企業資料館	○
83	山名文夫	習作	1930	鉛筆、水彩・紙	23.0×17.0	資生堂企業資料館	○
84	山名文夫	習作	1928	鉛筆、水彩・紙	27.6×19.0	資生堂企業資料館	○
85	山名文夫	タイトル不詳 原画	1928	墨・紙	10.0×10.0	資生堂企業資料館	○
86	山名文夫	タイトル不詳 原画	1929	墨・紙	23.8×19.5	資生堂企業資料館	○
87	山名文夫	習作	1930	鉛筆、水彩・紙	17.9×13.3	資生堂企業資料館	○
88	山名文夫	『サンデー毎日』『恋愛新風景』挿画 原画	1930	墨・紙	27.1×19.1	資生堂企業資料館	○
89	山名文夫	『サンデー毎日』北林透馬「本牧娘仁義」挿画 原画	1932	墨・紙	29.5×21.7	資生堂企業資料館	○
90	山名文夫	『サンデー毎日』昭和9年新年号カラーページ 扉絵	1934	印刷・紙	18.1×12.9	資生堂企業資料館	○ ○
91		『第1回主情派美術展覧会目録』	1928	印刷・紙	17.6×13.2	資生堂企業資料館	○ ○
92	山名文夫	私達がリーザと呼んでいた薔薇の女	1929	油彩・カンヴァス	73.0×61.0	資生堂アートハウス	○ ○
93	山名文夫	金髪の女性	1930	油彩・カンヴァス	65.0×53.0	資生堂アートハウス	○ ○
94	山名文夫	昭和3年 年賀状	1928	印刷・紙	14.2×9.4	資生堂企業資料館	○ ○
95	山名文夫	『カフェ・バー・喫茶店 広告図案集』	1930	印刷・紙	29.9×22.2×0.9	資生堂企業資料館	○ ○

第2章 モダン・ガールの誕生 ―戦前の仕事―

No.	作家名	作品名	制作年	技法/材質	寸法 (cm)	所蔵	前期	後期
96	山名 文夫	『千夜一夜』(中央公論社装幀版) ジャケット 原画	1930	水彩・墨・紙	29.9×25.2	資生堂企業資料館	○	
97	山名 文夫	『千夜一夜』(中央公論社装幀版) ジャケット 原画 トレース	不詳	鉛筆・トレーシングペーパー	29.7×24.1	資生堂企業資料館		○
98	表紙: 山名 文夫	『レコード』第1巻第2号(昭和5年10月号)	1930	印刷・紙	22.0×15.1	資生堂企業資料館	○	○
99	表紙: 山名 文夫	『レコード』第2巻第1号(昭和6年1月号) 表紙	1931	印刷・紙	22.2×14.8	資生堂企業資料館	○	○
100	表紙: 山名 文夫	『レコード』第2巻第2号(昭和6年2月号) 表紙	1931	印刷・紙	22.2×14.8	資生堂企業資料館	○	○
101	山名 文夫	『レコード』第2巻第6号(昭和6年6月号) 扉絵	1931	印刷・紙	29.8×22.6	資生堂企業資料館	○	○
102	外箱、カバー装幀: 山名 文夫	『エドガ・ポオ 小説全集 第1巻 奇態な天使』	1941	印刷・紙	18.8×13.5×2.5	群馬県立館林美術館	○	○
103	山名 文夫	『御婦人日記』(パンフレット) 挿画 原画	1931	水彩・紙	16.8×29.6	資生堂企業資料館	○	
104	山名 文夫	『粧ひ』(パンフレット) 挿画 原画	1932	水彩・紙	19.0×13.0	資生堂企業資料館	○	
105	山名 文夫	『粧ひ』(パンフレット) 挿画 原画	1932	水彩・紙	19.0×14.2	資生堂企業資料館	○	
106	山名 文夫	『粧ひ』(パンフレット) 挿画 原画	1932	水彩・紙	19.0×14.0	資生堂企業資料館		○
107	山名 文夫	『粧ひ』(パンフレット) 挿画 原画	1932	水彩・紙	18.6×15.1	資生堂企業資料館		○
108		『粧ひ』(パンフレット)	1932	印刷・紙	14.6×13.0	資生堂企業資料館	○	○
109	D: 山名 文夫	資生堂モダンカラー粉白粉(レプリカ)	1932		直径 6.5×3.3	資生堂企業資料館	○	○
110	D: 山名 文夫	資生堂頬紅	1933		直径 4.1×1.6	資生堂企業資料館	○	○
111	表紙: 山名 文夫	『新化粧1』(パンフレット)	1932	印刷・紙	19.0×13.0	資生堂企業資料館	○	○
112	D: 山名 文夫	団扇「東京新風景 銀座の夜景」(レプリカ)	1932		36.0×19.8	資生堂企業資料館	○	○
113	表紙: 山名 文夫 (デザイン)、渡辺 義雄(写真)	『NIPPON』第1号(復刻版)	1934	印刷・紙	37.5×26.5	資生堂企業資料館	○	○
114	表紙: 山名 文夫	『NIPPON』第8号(復刻版)	1936	印刷・紙	37.5×26.5	資生堂企業資料館	○	○
115	山名 文夫	『NIPPON』第8号「資生堂広告」	1936	印刷・紙	37.5×26.5	資生堂企業資料館	○	○
116	山名 文夫	『広告界』資生堂化粧品 広告案	1938	印刷・紙	25.9×18.5	資生堂企業資料館	○	○
117	山名 文夫	資生堂石鹸 新聞広告 原画	1936	水彩・墨・紙	34.9×18.2	資生堂企業資料館	○	
118	山名 文夫	資生堂石鹸 新聞広告 (『東京日日新聞』昭和11年11月16日)	1936	印刷・紙	30.1×18.3	資生堂企業資料館	○	○
119	山名 文夫	資生堂クリーム 雑誌広告 イラストレーション 原画	1938	水彩・墨・紙	18.0×16.3	資生堂企業資料館	○	
120	山名 文夫	資生堂ホルモリン 雑誌広告 イラストレーション 原画	1937	鉛筆、水彩、墨・紙	19.4×15.7	資生堂企業資料館		○
121	山名 文夫	習作	1938	水彩・墨・紙	20.9×16.6	資生堂企業資料館		○
122	山名 文夫	資生堂の香水 新聞広告	1937	印刷・紙	18.2×18.6	資生堂企業資料館	○	○
123	山名 文夫	資生堂の香水 新聞広告	1938	印刷・紙	20.1×21.6	資生堂企業資料館	○	○
124	山名 文夫	資生堂アルモンドミルク 新聞広告	1938	印刷・紙	19.8×22.1	資生堂企業資料館	○	○
125	山名 文夫	資生堂 新聞広告	不詳	印刷・紙	11.8×9.3	資生堂企業資料館	○	○
126	山名 文夫	資生堂バニシングクリーム 新聞広告 原画	1938	鉛筆、墨・紙	12.5×12.9	資生堂企業資料館	○	
127	山名 文夫	『花椿』昭和13年4月号 扉絵 原画	1938	墨・紙	22.7×18.7	資生堂企業資料館	○	
128	表紙: 山名 文夫	『花椿』昭和13年10月号	1938	印刷・紙	26.3×19.1	資生堂企業資料館	○	○
129	表紙: 山名 文夫	『花椿』昭和14年3月号	1939	印刷・紙	26.3×19.1	資生堂企業資料館	○	○
130	表紙: 山名 文夫	『花椿』昭和14年10月号	1939	印刷・紙	26.3×19.1	資生堂企業資料館	○	○

第3章 洗練を極める山名様式 ―戦後の仕事―

No.	作家名	作品名	制作年	技法/材質	寸法 (cm)	所蔵	前期	後期
131	山名 文夫	PETITE EXPOSITION D'AYAO II	1939	墨・紙	19.7×15.5	資生堂企業資料館	○	
132	山名 文夫	PETITE EXPOSITION D'AYAO IV	1939	墨・紙	15.3×11.7	資生堂企業資料館		○
133	山名 文夫	資生堂ゾートス ブルーバー ド化粧品 シンボルパターン	1976(?)	墨・紙	14.4×8.9	資生堂企業資料館	○	
134	山名 文夫	株券デザイン	1940	鉛筆、水彩・紙	20.3×28.5	資生堂企業資料館		○
135	山名 文夫	資生堂ドルックス化粧品 パッケージ 習作	不詳	鉛筆、墨・紙	19.0×16.5	資生堂企業資料館	○	
136	山名 文夫	資生堂ドルックス化粧品 パッケージ 習作	不詳	鉛筆、水彩・紙	24.8×17.6	資生堂企業資料館	○	
137	山名 文夫	資生堂ドルックス化粧品 パッケージ 習作	不詳	鉛筆、水彩・紙	24.8×17.6	資生堂企業資料館	○	
138	山名 文夫	資生堂ドルックス化粧品 パッケージ 習作	不詳	鉛筆、水彩・紙	20.4×15.6	資生堂企業資料館	○	
139	山名 文夫	資生堂ドルックス化粧品 パッケージ 習作	不詳	鉛筆、水彩・紙	24.8×17.6	資生堂企業資料館		○
140	山名 文夫	資生堂ドルックス化粧品 パッケージ 習作	不詳	鉛筆、水彩・紙	24.8×17.6	資生堂企業資料館		○
141	山名 文夫	資生堂ドルックス化粧品 パッケージ 習作	不詳	鉛筆、水彩・紙	24.8×17.6	資生堂企業資料館		○
142	山名 文夫	資生堂ドルックス化粧品 パッケージ 習作	不詳	鉛筆、水彩・紙	24.8×18.1	資生堂企業資料館		○
143	D: 山名 文夫	資生堂ドルックス化粧品	1951-81			資生堂企業資料館	○	○
144	山名 文夫	唐草バリエーション (「ドルックスとプリオールの 文様について」図版資料)	不詳	鉛筆、墨・紙	19.1×28.0	資生堂企業資料館	○	
145	山名 文夫	資生堂ドルックス粉白粉 化 粧箱デザイン 原画	1951	鉛筆、墨・紙	22.0×15.8	資生堂企業資料館	○	
146	山名 文夫	資生堂ドルックス粉白粉 化 粧箱デザイン 原画	1951	鉛筆、墨・紙	18.5×16.4	資生堂企業資料館		○
147	D: 山名 文夫	資生堂ドルックス粉白粉	1951		8.4×8.4×3.5	資生堂企業資料館	○	○
148	D: 山名 文夫	資生堂ドルックス口紅	1965		1.8×1.8×5.5	資生堂企業資料館	○	○
149	山名 文夫	資生堂ドルックス化粧品 新 聞広告	1951	印刷・紙	16.8×25.0	資生堂企業資料館	○	○
150	山名 文夫	資生堂パールホワイト 広告 イラストレーション 原画	1951	墨・紙	16.0×13.6	資生堂企業資料館	○	
151	山名 文夫	資生堂の香水 新聞広告 原 画	1952	鉛筆、墨・紙	18.0×41.1	資生堂企業資料館	○	
152	山名 文夫	資生堂の香水 新聞広告イラ ストレーション 原画	1952	鉛筆、墨・紙	17.4×19.0	資生堂企業資料館	○	
153	山名 文夫	『花椿』昭和28年5月号表紙 原画	1953	水彩、墨・紙	32.4×23.0	資生堂企業資料館	○	
154	山名 文夫	資生堂「花椿カレンダー」の ためのイラストレーション 原 画	1955	水彩・紙	39.5×54.7	資生堂企業資料館	○	
155	山名 文夫	資生堂ドルックス化粧品 新 聞広告	1956	印刷・紙	30.0×24.9	資生堂企業資料館	○	
156	山名 文夫	資生堂の香水 広告イラスト レーション 原画	1956	墨・紙	28.0×21.5	資生堂企業資料館	○	
157	山名 文夫	資生堂ドルックスコールドク リーム 新聞広告 イラストレーション 原画	1957	墨・紙	30.1×24.5	資生堂企業資料館	○	
158	山名 文夫	資生堂ドルックスコールドク リーム 新聞広告	1957	印刷・紙	30.0×44.1	資生堂企業資料館	○	
159	山名 文夫	資生堂化粧品 ポスターのた めのイラストレーション 原画	1955-70	鉛筆、水彩・紙	28.1×24.3	資生堂企業資料館	○	
160	山名 文夫	資生堂化粧品 ポスター	1955	印刷・紙	102.8×72.5	資生堂企業資料館	○	○
161	山名 文夫	資生堂企業広告「機関車と 花椿」新聞広告 イラストレーション 原画	1958	墨・紙	30.2×39.4	資生堂企業資料館	○	

No.	作家名	作品名	制作年	技法/材質	寸法 (cm)	所蔵	前期	後期
162	山名 文夫	資生堂ドルックス化粧品 新聞広告イラストレーション 原画	1958	墨・紙	23.6×17.9	資生堂企業資料館	○	
163	山名 文夫	資生堂ドルックス化粧品 新聞広告イラストレーション 原画	1958	墨・紙	29.2×22.6	資生堂企業資料館		○
164	山名 文夫	資生堂ドルックス化粧品 新聞広告	1958	印刷・紙	29.8×25.0	資生堂企業資料館		○
165	山名 文夫	資生堂オールドルックス 新聞広告イラストレーション 原画	1959	墨・紙	20.0×23.2	資生堂企業資料館		○
166	山名 文夫	資生堂オールドルックス 新聞広告	1959	印刷・紙	23.3×25.0	資生堂企業資料館		○
167	山名 文夫	習作	1959	鉛筆、水彩、墨・	26.6×18.4	資生堂企業資料館		○
168	山名 文夫	資生堂ドルックスコールドクリーム 新聞広告 イラストレーション 原画	1959	墨・紙	27.8×21.0	資生堂企業資料館		○
169	山名 文夫	資生堂ドルックス化粧品 新聞広告イラストレーション 原画	1959	墨・紙	35.4×26.0	資生堂企業資料館		○
170	山名 文夫	資生堂ドルックス化粧品 新聞広告イラストレーション 習作	不詳	鉛筆・紙	29.8×21.3	資生堂企業資料館		○
171	山名 文夫	資生堂ドルックスコールドクリーム 新聞広告	1961	印刷・紙	30.6×25.1	資生堂企業資料館		○
172	山名 文夫	企業広告 資生堂創業100年 記念 新聞広告 イラストレーション 原画	1972	墨・紙	25.2×17.8	資生堂企業資料館		○
173	山名 文夫	企業広告 資生堂創業100年 記念 新聞広告「創業1872 つばみは花に。春をかぞえて百年。」	1972	印刷・紙	60.0×43.5	資生堂企業資料館		○
174	山名 文夫	資生堂企業広告<私の美人像>シリーズ 新聞広告 原画	1979	鉛筆、墨・紙	38.3×44.3	資生堂企業資料館		○
175	山名 文夫	資生堂企業広告<私の美人像>シリーズ 新聞広告	1979	印刷・紙	44.0×47.7	資生堂企業資料館	○	○
176	表紙:山名 文夫	『江戸川亂歩愛誦探偵小説集』(上巻)	1947	印刷・紙	18.0×12.6×0.9	神奈川県立神奈川近代文学館	○	
177	表紙:山名 文夫	『江戸川亂歩愛誦探偵小説集』(中巻)	1947	印刷・紙	18.0×12.6×1.2	神奈川県立神奈川近代文学館		○
178	表紙:山名 文夫	『江戸川亂歩愛誦探偵小説集』(下巻)	1947	印刷・紙	18.0×12.6×1.1	神奈川県立神奈川近代文学館		○
179	山名 文夫	『Commercial Japan』(?) 扉絵 原画	1954(?)	墨・紙	34.7×24.9	資生堂企業資料館		○
180	山名 文夫	『宝石』第2巻第7号(昭和22年7月号) 香山滋「海鰻荘奇談」挿画 原画	1947	墨・紙	19.0×27.3	資生堂企業資料館		○
181	山名 文夫	『宝石』第4巻第1号(昭和24年1月号) 香山滋「ソロモンの桃」挿画 原画	1949	墨・紙	27.2×19.2	資生堂企業資料館	○	
182	山名 文夫	『宝石』第4巻第6号(昭和24年6月号) 扉絵 原画	1949	墨・紙	27.2×19.1	資生堂企業資料館		○
183	山名 文夫	『宝石』第4巻第7号(昭和24年7月号) 扉絵 原画	1949	墨・紙	27.2×19.2	資生堂企業資料館	○	
184	山名 文夫	『宝石』第4巻第8号(昭和24年8月号) 扉絵 原画	1949	墨・紙	24.8×17.6	資生堂企業資料館	○	
185	山名 文夫	『宝石』第4巻第11号(昭和24年10月号) 扉絵 原画	1949	墨・紙	26.0×17.5	資生堂企業資料館		○
186	山名 文夫	『宝石』第5巻第1号(昭和25年1月号) 扉絵 原画	1950	墨・紙	27.0×19.1	資生堂企業資料館	○	

No.	作家名	作品名	制作年	技法/材質	寸法 (cm)	所蔵	前期	後期
187	山名 文夫	『宝石』第5巻第8号(昭和25年8月号) 扉絵 原画	1950	鉛筆・墨・紙	20.1×14.0	資生堂企業資料館	○	
188	山名 文夫	『宝石』第7巻第11号(昭和27年11月号) 扉絵 原画	1952	墨・紙	19.3×13.0	資生堂企業資料館		○
189	山名 文夫	『宝石』第8巻第3号(昭和28年4月号) 扉絵 原画	1953	墨・紙	19.4×13.3	資生堂企業資料館	○	
190	山名 文夫	『宝石』第8巻第5号(昭和28年5月号) 扉絵 原画	1953	墨・紙	19.3×13.3	資生堂企業資料館	○	
191	山名 文夫	『宝石』第8巻第6号(昭和28年6月号) 扉絵 原画	1953	墨・紙	19.4×13.3	資生堂企業資料館		○
192	山名 文夫	『宝石』第8巻第7号(昭和28年7月号) 扉絵 原画	1953	墨・紙	19.3×13.3	資生堂企業資料館		○
193	山名 文夫	『山名文夫イラストレーション作品集』(私家版)	1971	印刷・紙	29.8×21.0×1.9	資生堂企業資料館	○	○
194	山名 文夫	『唐草幻像』(私家版作品集) 表紙	1973	印刷・紙	29.8×21.0	資生堂企業資料館	○	○
195	山名 文夫	『唐草幻像』原画	1972-73	墨・紙	20.3×13.3	資生堂企業資料館	○	
196	山名 文夫	『唐草幻像』原画	1972-73	墨・紙	19.7×14.4	資生堂企業資料館	○	
197	山名 文夫	『唐草幻像』原画	1972-73	墨・紙	19.6×14.3	資生堂企業資料館	○	
198	山名 文夫	『唐草幻像』原画	1972-73	墨・紙	24.8×17.6	資生堂企業資料館	○	
199	山名 文夫	『唐草幻像』原画	1972-73	墨・紙	18.3×13.7	資生堂企業資料館		○
200	山名 文夫	『唐草幻像』原画	1972-73	墨・紙	18.7×14.1	資生堂企業資料館		○
201	山名 文夫	『唐草幻像』原画	1972-73	墨・紙	19.0×13.3	資生堂企業資料館		○
202	山名 文夫	『唐草幻像』(私家版作品集)より	1973	印刷・紙	29.7×21.0	資生堂企業資料館	○	○
203	山名 文夫	『PROFILE』(私家版作品集) 表紙	1977	印刷・紙	35.3×27.3	資生堂企業資料館	○	○
204	山名 文夫	『PROFILE』Ⅰ 原画	1973	墨・紙	35.4×27.1	資生堂企業資料館	○	
205	山名 文夫	『PROFILE』Ⅱ 原画	1974	墨・紙	28.1×24.5	資生堂企業資料館		○
206	山名 文夫	『PROFILE』Ⅲ 原画	1974	墨・紙	28.0×24.5	資生堂企業資料館	○	
207	山名 文夫	『PROFILE』Ⅳ 原画	1974	墨・紙	35.4×27.2	資生堂企業資料館	○	
208	山名 文夫	『PROFILE』Ⅴ 原画	1975	墨・紙	34.7×27.2	資生堂企業資料館		○
209	山名 文夫	『PROFILE』Ⅵ 原画	1975	墨・紙	35.3×27.2	資生堂企業資料館		○
210	山名 文夫	『PROFILE』Ⅶ 原画	1975	印刷・紙	35.8×26.6	資生堂企業資料館	○	
211		道具類 (ペン、ペン先、ペン立て、硯、墨)				資生堂企業資料館	○	○

第4章 資生堂意匠部の歩み ーアール・デコを基調とするモダン・スタイルー

212		福原衛生歯磨石鹸 (レブリカ)	1888		直径 7.0×3.3	資生堂企業資料館	○	○
213	D: 矢部季	包装紙 (レブリカ)	1924	印刷・紙	21.3×29.3	資生堂企業資料館	○	○
214	D: 沢令花	包装紙 (レブリカ)	1927	印刷・紙	27.5×39.3	資生堂企業資料館	○	○
215		資生堂オイデルミン (レブリカ)	1897		5.0×5.0×13.0	資生堂企業資料館	○	○
216	D: 矢部季	オイデルミン ポスター (レブリカ)	1925	印刷・紙	28.2×18.2	資生堂企業資料館	○	○
217		着色福原粉白粉七種(七色粉白粉) (レブリカ)	1917		各6.0×6.0×3.7	資生堂企業資料館	○	○
218	D: 前田貢	資生堂コールドクリーム (外箱、ラベル、蓋カバー:レブリカ)	1918		7.0×7.0×7.0	資生堂企業資料館	○	○
219	前田貢	資生堂オイデルミン 小型ウィンドウバックポスター (レブリカ)	1926	印刷・紙	17.4×24.8	資生堂企業資料館	○	○
220	前田貢	資生堂オイデルミン・コールドクリーム 小型ウィンドウバックポスター (レブリカ)	1926	印刷・紙	17.4×24.8	資生堂企業資料館	○	○
221		過酸化水素粉歯磨 小型ウィンドウバックポスター (レブリカ)	1927	印刷・紙	17.4×24.8	資生堂企業資料館	○	○
222	前田貢	資生堂過酸化クリーム ポスター (レブリカ)	1930頃	印刷・紙	26.5×39.0	資生堂企業資料館	○	○

No.	作家名	作品名	制作年	技法/材質	寸法 (cm)	所蔵	前期	後期
223	表紙:矢部季	三須 裕『新しい束髪の結び方』	1924	印刷・紙	17.5×9.5	資生堂企業資料館	○	○
224	表紙:矢部季	三須 裕『新しい束髪の結び方』	1924	印刷・紙	17.5×9.5	島田安彦コレクション	○	○
225		『資生堂製品総目録』	1926	印刷・紙	22.0×15.5	資生堂企業資料館	○	○
226	シャルル・マルタン	「アフロディーテ:女神の庭にて」 『ガゼット・デュ・ボン・トン』 1914年5月号、No.5、Pl.43	1914	ポシヨワール・紙	24.5×38.3	文化学園大学図書館	○	○
227		『御婦人手帳』	1927	印刷・紙	12.2×8.8	資生堂企業資料館	○	○
228		『資生堂月報』昭和3年1月	1928	印刷・紙	25.4×18.4	資生堂企業資料館	○	○
229		『銀座資生堂御案内』	1929	印刷・紙	15.1×11.2	資生堂企業資料館	○	○
230		『化粧』(パンフレット)	1931	印刷・紙	9.3×6.9	資生堂企業資料館	○	○
231	川島理一郎	バラック正面図	1923	鉛筆、水彩、墨・	42.4×73.3	資生堂企業資料館	○	
232	川島理一郎	バラック内観図1	1923	鉛筆、水彩、墨・	38.5×58.7	資生堂企業資料館		○
233	川島理一郎	バラック内観図2	1923	鉛筆、水彩、墨・	35.9×54.5	資生堂企業資料館	○	
234	川島理一郎	カフェ・カウンター装飾略図	1923	鉛筆、水彩、墨・	35.8×54.4	資生堂企業資料館		○
235	前田貢	資生堂コールドクリーム、資生堂バニシングクリーム ポスター (レプリカ)	1930頃	印刷・紙	52.0×76.0	資生堂企業資料館	○	○
236	前田貢	資生堂美爪化粧品 ポスター (レプリカ)	1932頃	印刷・紙	26.0×38.0	資生堂企業資料館	○	○
237	前田貢	資生堂ルーデスチック・資生堂頬紅 ポスター (レプリカ)	1933頃	印刷・紙	26.0×38.0	資生堂企業資料館	○	○
238	前田貢	資生堂クレモリン ポスター (レプリカ)	1932	印刷・紙	107.0×38.5	資生堂企業資料館	○	○
239	前田貢	資生堂化粧品デー ポスター (レプリカ)	1933	印刷・紙	107.0×38.5	資生堂企業資料館	○	○
240	前田貢	資生堂化粧品デー ポスター (レプリカ)	1930	印刷・紙	107.0×38.5	資生堂企業資料館	○	○
241	D:前田貢	資生堂ローズバニシングクリーム (レプリカ)	1931		6.2×6.0×8.8	資生堂企業資料館	○	○
242	D:前田貢	資生堂青鳥粉白粉 (レプリカ)	1932		直径 6.8×3.3	資生堂企業資料館	○	○
243	D:前田貢	資生堂ドルックス化粧品 (レプリカ)	1932		各直径 6.8×4.4	資生堂企業資料館	○	○
244		資生堂粉末爪磨(パウダーポリッシュ) (レプリカ)	1932		4.0×4.0×2.4	資生堂企業資料館	○	○
245	D:山本武夫	美術缶(資生堂石鹸)	1933		27.6×17.4×3.9	資生堂企業資料館	○	○
246	D:前田貢	資生堂製皮膚薬クリーム エクチェマル (レプリカ)	1934		5.6×5.5×5.2	資生堂企業資料館	○	○
247	D:渡部裕	1937年花椿会記念品 ハンドバッグ型 バニティケース	1937		9.8×15.4×2.2	資生堂企業資料館	○	○
248	D:渡部裕	1937年花椿会記念品 ハンドバッグ型 バニティケース 中型	1937		5.5×10.5×1.6	資生堂企業資料館	○	○
249		『新化粧2』(パンフレット)	1932	印刷・紙	9.4×10.6	資生堂企業資料館	○	○
250		『立体化粧法図解』	不詳	印刷・紙	14.8×11.0	資生堂企業資料館	○	○
251		『資生堂グラフ』創刊号(昭和8年6月号)	1933	印刷・紙	19.0×13.0	資生堂企業資料館	○	○
252	外箱装幀:前田貢(?)	『福原信三 写真集 西湖風景』	1931	印刷・紙	28.0×21.7×2.0	資生堂企業資料館	○	○
253	外箱装幀:前田貢	『福原信三 写真集 松江風景』	1935	印刷・紙	27.9×22.0×1.7	資生堂企業資料館	○	○
254		資生堂ビューティーチャート	1936頃	印刷・紙	16.0×16.0	資生堂企業資料館	○	○
255		資生堂ビューティーチャート 外袋	1936頃	印刷・紙	17.0×16.3	資生堂企業資料館	○	○
256	D:山名文夫	資生堂中煉歯磨	1940		直径 7.5×2.4	資生堂企業資料館	○	○
257	D:山名文夫	資生堂クリームパクト	1960		直径 6.8×1.8	資生堂企業資料館	○	○
258	D:山名文夫	資生堂プリオールコールドクリーム	1961		直径 5.5×6.6	資生堂企業資料館	○	○

No.	作家名	作品名	制作年	技法/材質	寸法 (cm)	所蔵	前期	後期
259	D:仲條正義	キューイジーヌ シセイドー 皿	1984		各直径 21.0×2.3	資生堂企業資料館	○	○
260		資生堂ル・コンパクト(1995 年花椿CLUB限定品)	1995		5.5×5.5×1.2	資生堂企業資料館	○	○
261		資生堂ブードル コーディアル (1997年花椿CLUB限定 品)	1997		10.0×10.0×7.0	資生堂企業資料館	○	○
262		資生堂パーラー 机 (レプリ カ)	1923		65.0×85.0×72.0	資生堂企業資料館	○	○
263		資生堂パーラー 椅子 (レプ リカ)	1923		51.0×43.0×100.0	資生堂企業資料館	○	○
264		資生堂パーラー食器一式	昭和初期			資生堂企業資料館	○	○
265	D:仲條正義	資生堂パーラー デリスマイ ヤーズラム 12個入り	1990		9.0×17.8×6.0	資生堂企業資料館	○	○
266	D:仲條正義	資生堂パーラー フリアン 12 個入り	1990		9.0×17.8×6.0	資生堂企業資料館	○	○
267	D:仲條正義	資生堂パーラー 手提げ紙 袋 大・中・小	1992		大 12.0×32.0×44.0 中 13.0×35.0×28.0 小 12.0×20.0×27.5	資生堂企業資料館	○	○
268	D:渋谷善雄	資生堂パーラー 花椿ジュレ オム 15個入り	2010		10.7×10.7×5.0	資生堂企業資料館	○	○
269	D:渋谷善雄	資生堂パーラー ビスキュイ M 29枚入り	2010		20.3×26.3×4.5	資生堂企業資料館	○	○
270	山名文夫	昭和46年 年賀状	1971	印刷・紙	14.7×10.0	島田安彦コレクション	○	○
271	山名文夫	昭和48年 年賀状	1973	印刷・紙	14.8×10.0	島田安彦コレクション	○	○
272	山名文夫	昭和50年 年賀状	1975	印刷・紙	14.9×10.5	島田安彦コレクション	○	○
273	山名文夫	昭和52年 年賀状	1977	印刷・紙	10.0×14.8	島田安彦コレクション	○	○

◎印刷物・会場作成物

・図録 B5判変形(26.0×19.0cm) 88頁

内容:

ごあいさつ

謝辞

目次

日本のアール・デコの形成 山名文夫のプラトン社時代(西村美香)

図版

第1章 アール・デコ様式との邂逅 -プラトン社での仕事-

第2章 モダン・ガールの誕生 -戦前の仕事-

第3章 洗練を極める山名様式 -戦後の仕事-

第4章 資生堂意匠部の歩み -アール・デコを基調とするモダン・スタイル-

出品作品図版抜粋

山名文夫と資生堂スタイル -アール・デコの観点から(野澤広紀)

山名文夫と資生堂関連年表

作家略歴

主要参考文献

出品作品リスト

執筆:西村美香(明星大学教授)、野澤広紀(群馬県立館林美術館学芸員)

編集:野澤広紀、松下和美(群馬県立館林美術館学芸員)

翻訳:スタンリー・N・アンダソン

デザイン:林琢磨、鈴木春奈(Hayashi Takuma Design Office.)

制作:印象社

印刷:株式会社東京印書館

発効日:2015年4月25日

発行:群馬県立館林美術館

・ポスター B2

・チラシ A4

・ジュニアガイド 蛇腹折り、76.8×12.8cm(四つ角を断裁)

デザイン:林琢磨、鈴木春奈(Hayashi Takuma Design Office.)

制作:印象社

・パネル

挨拶2枚、章解説9枚、年表1枚、解説2枚、図版パネル6枚

・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事

(長文記事は末尾に*、県内媒体の情報のみの記事は省略)

〔新聞等〕

・おおたタイムス

3.21

「モダンなデザインの山名文夫とアール・デコ 県立館林美術館で開く」*

・産経新聞

6.19

「企画展「山名文夫とアール・デコー 資生堂スタイルの確立者」」〈開催中です!〉

・上毛新聞

4.28

「デザイナーの山名文夫紹介」〈ぶんか通信〉

4.29

「女性像 洗練の過程 資生堂広告など資料270点」

・上毛新聞シャトル

5.20

「館林美術館 山名文夫とアール・デコ①」*(学芸員 野澤広紀)

5.27

「館林美術館 山名文夫とアール・デコ②」*(学芸員 野澤広紀)

6.3

「館林美術館 山名文夫とアール・デコ③」*(学芸員 野澤広紀)

6.10

「館林美術館 山名文夫とアール・デコ④」*(学芸員 野澤広紀)

・群馬よみうり ビバ! アミーゴ

4.24

「企画展「山名文夫とアール・デコ」」

・両毛新聞

5.11

「山名文夫とアール・デコ 群馬県立館林美術館」

〔定期刊行物〕

・美術の窓

2月号

「山名文夫とアール・デコー 資生堂スタイルの確立者」〈必見!! 今年の展覧会ベスト200〉

・月刊ブレーン

7月号

「山名文夫とアール・デコー 資生堂スタイルの確立者」〈セレクト10〉

・ミセス

6月号

「「山名文夫とアール・デコー 資生堂スタイルの確立者」展」〈Art〉

・raifu

4月号

「資生堂のデザインを確立した山名文夫のレトロモダンな世界」〈群馬県内のイベント〉

◎放送	・学芸員による作品解説会
	5.12、5.20、6.12、6.21
[ラジオ]	・たてび☆キッズウォーク
・FM桐生	5.2、6.13
4.21	
「企画展示「山名文夫とアール・デコ ―資生堂スタイルの確立者―」の お知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉	
6.16	
「たてび☆びじゅつ部「お洒落なカード作り」のお知らせ〈ぐんまいきいき 情報〉	
・FM群馬	
4.27	
「企画展示「山名文夫とアール・デコ ―資生堂スタイルの確立者―」 のお知らせ」〈ぐんま情報トッピング〉	
6.11	
「企画展示「山名文夫とアール・デコ ―資生堂スタイルの確立者―」作 品解説会のお知らせ」〈ぐんま情報トッピング〉	
・FM太郎	
5.19	
「企画展示「山名文夫とアール・デコ ―資生堂スタイルの確立者―」関 連行事「学芸員による作品解説会」などのお知らせ」〈ぐんまいきいき情 報〉	
6.9	
「企画展示「山名文夫とアール・デコ ―資生堂スタイルの確立者―」関 連行事「学芸員による作品解説会」などのお知らせ」〈ぐんまいきいき情 報〉	

◎関連事業

・記念講演会

5.30

「デザイナー山名文夫の誕生」

講師: 西村美香氏 (明星大学教授)

・トーク&ミニワークショップ

5.16

「パフューマーが語る“香りの世界”」

講師: 城市篤氏 (パフューマー (調香師))

・トークイベント

6.13

「わたしの仕事 ―資生堂パーラーや『花椿』を中心に―」

講師: 仲條正義氏 (グラフィックデザイナー)

・たてび☆びじゅつ部

5.23、6.20

「お洒落なカード作り」



展示室2



展示室3



展示室4



展示室4

2. リサ・ラーソン展～北欧スウェーデンより、ネコや鳥や少女の陶芸～

会期 平成27年7月18日(土)～8月30日(日)
 会場 展示室2、3、4
 主催 群馬県立館林美術館／NHKサービスセンター
 後援 スウェーデン大使館
 協力 フィンエアー、フィンエアーカーゴ
 企画 アートインプレッション
 企画協力 トンカチ、実業之日本社
 観覧料 一般610(480)円 大生300(240)円
 ()内は、20名以上の団体割引料金

ネコのマイキー、丸々としたライオンなど、スウェーデンの陶芸家リサ・ラーソン(1931～)が、グラフィックデザイナーの娘ヨハンナとの共同制作で生み出した動物のキャラクターたちは、多くの人を魅了している。本展は、83歳で活躍中のリサ・ラーソンの陶芸家としての活動を紹介する展覧会である。

スウェーデン、ヨーテボリの工芸組合学校(現HDK=ヨーテボリデザイン工芸学校)で陶芸を学んだリサ・ラーソンは、1954年から、名門陶器メーカー、グスタフスベリ製陶所で仕事を始めた。モダン・デザインが主流の時代に、動物や少女など身近なモチーフを温かいユーモアで形にしたリサ・ラーソンの作品は、驚きをもって迎えられ、当時から高い人気を得た。日本の民藝に

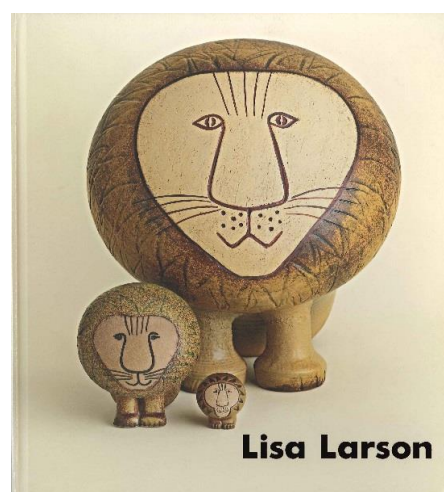
影響を受け、粗く素朴な風合いの土を好んで用いたことも、リサ・ラーソンの陶芸に個性的な魅力を与えている。

本展は、作家とスウェーデン随一のリサ・ラーソン作品のコレクターの協力のもと実現した国内初の本格的な個展である。ヨーテボリの工芸組合学校時代の作品に始まり、グスタフスベリ時代のユニークピース(1点ものの作品)とプロダクト品、またグスタフスベリを退職後、フリーランスとして活動する中でユニセフや世界自然保護基金などとのコラボレーションで生まれた作品シリーズのほか、2000年代以降の人物像やテーブルウェアなど、代表作約230点を年代順に展示した。

会場内にはサマーハウスの紹介コーナーを設け、作家のインタビュー映像と、アトリエから持ってきた道具類、スウェーデンの人々が大切にしているフィーカ(お茶の時間)のテーブルの様子も紹介し、現役で活動を続ける作家の制作スタイルの魅力も伝えた。



ポスター



図録



ジュニアガイド

出品目録

ユニークピース

No.	シリーズ名	作品名	制作年	技法・材質
U-1	—	ハト(初期の作品)	1948	陶器
U-2	—	4人の丸い女の壁掛け	1959-1960	陶器
U-3	—	5羽のトリ	1950年代	陶器
U-4-1	60年代の花器	青い花器	1960	陶器
U-4-2	60年代の花器	背の高い花器	1960	陶器
U-5	—	トリ	1963	陶器
U-6	—	日本にインスピレーションを受けた花器	1963	陶器
U-7	—	青い塔	1964	陶器
U-8	—	大きなカバ	1965	陶器
U-9	—	ピーター・ヴォーコスにインスピレーションを受けたウマ	1966	陶器
U-10	—	戦士	1960年代	陶器
U-11-1	母の彫像	肘掛け椅子に座る母	1960年代	陶器
U-11-2	母の彫像	母と子	1960年代	陶器
U-11-3	母の彫像	籐椅子に座る母	1960年代	陶器
U-11-4	母の彫像	母と4人の子供たち	1960年代	陶器
U-12	—	アフリカの花器	1960年代	陶器
U-13-1	—	漏斗形花器	1960年代	陶器
U-13-2	—	黄色丸形花器	1960年代	陶器
U-14	—	花器	1960年代	陶器
U-15-1	トリ	トリ	1960年代	陶器
U-15-2	トリ	くちばしのあるトリ	1960年代	陶器
U-16	—	壁掛けボックス	1960年代	陶器
U-17	—	転写された木と2羽のトリ	1960年代	陶器
U-18	—	大きな壺	1960年代	陶器
U-19	—	「乗り物」シリーズ飛行機の原型作品	1960年代	陶器
U-20	—	花柄シャツと口ひげ	1960年代	陶器
U-21	—	トリのマークがついた鉢	1977	陶器
U-22	—	少女の彫像	1977	陶器
U-23-1	ユニークな彫像	美術評論家たち	1977	陶器
U-23-2	ユニークな彫像	シェイクスピア研究家	1978	陶器
U-23-3	ユニークな彫像	青いアネモネ柄のドレス	1970年代	陶器
U-24	—	絵付箱形花器	1970年代	陶器
U-25	—	絵付皿	1970年代	陶器
U-26	—	人物図皿	1970年代	陶器
U-27-1	—	黒いスーツ	1970年代	陶器
U-27-2	—	背の高い女性	1970年代	陶器
U-27-3	—	柄入りのドレス	1970年代	陶器
U-28	—	葉っぱ模様のトリ	1970年代	陶器
U-29	—	花柄のドレス	1970-80年代	陶器
U-30	—	花の絵のある皿	1970-80年代	陶器
U-31	—	青い彫文のある花器	1982	陶器
U-32	—	スティグ・リンドベリにインスピレーションを受けた彫像	1986	陶器
U-33	—	トリ	1980年代	陶器
U-34	—	大きなママ	1997	陶器
U-35	—	大きな丸形花器	1997	陶器
U-36	—	老夫婦	1990年代	陶器
U-37	—	バス停の3人の老女たち	1990年代	陶器
U-38	—	つなぎを着た少年	1990年代	陶器
U-39	—	駆け引き	2001	陶器
U-40	—	トルソ	2002	陶器
U-41	—	背中に座る女性	2004	陶器
U-42	—	天使を抱えた女性	2000年代	陶器
U-43	—	台座に座る白い男	2000年代	陶器
U-44	—	腕組み	2000年代	陶器
U-45	—	バラ模様のロングドレス	2000-10年代	陶器

プロダクト

No.	シリーズ名	作品名	制作年	技法・材質
P-1	パロマ	ハト	1955	陶器
		灰皿		陶器
P-2	小さな動物園	座ったネコ	1955	陶器
		立っているネコ		陶器
		ウマ		陶器
		キツネ		陶器
		ダックスフント		陶器
		バイソン		陶器
P-3	バラエティーショー	蓋物	1956	陶器
		皿		陶器
P-4	アドヴェント	キャンドルホルダー	1956	陶器
		灰皿		陶器
P-5	大きな動物園	ヘラジカ	1957	陶器
		シマウマ		陶器
		ネコ		陶器
P-6	魚たち	魚形皿	1958	陶器
		ニシン形皿		陶器
		鉢		陶器
P-7	ABC少女	シャルロット	1958	陶器
		アマリア		陶器
		ベアタ		陶器
P-8	ABC少女	シャルロット	1958	陶器
		エマ		陶器
		アマリア		陶器
		ドラ		陶器
		ベアタ		陶器
P-9	—	ネコを抱くステイナ	1958	陶器
		漁師		陶器
P-10	グラナダ	花器	1959	陶器
		皿		陶器
P-11	大きな動物園	ウシ	1959	陶器
		ブルドッグ		陶器
		ロバ		陶器
P-12	—	アルベルティーナ	1959	陶器
P-13	ハーレキン	陶板	1960	陶器
		陶板・皿		陶器
		灰皿		陶器
P-14	タリア	灰皿	1961	陶器
		花器		陶器
		煙草入れ		陶器
P-15-1	ユニーク	ひまわり	1961	陶器
		船		陶器
		ゾウ		陶器
P-15-2	ユニーク	女性	1961	陶器
		葉		陶器
		トリたち		陶器
P-15-3	ユニーク	馬に乗る人たち	1961	陶器
		ネコ2種		陶器
P-16	ラーソンの子供たち	ペレ	1962	陶器
		ヨハンナ		陶器
		カレ		陶器
		ロット		陶器
		マーリン		陶器
P-17	枢機卿	—	1962	陶器
P-18	カメたち	カメ3種	1963	陶器
P-19	—	トリ2種	1963	陶器

No.	シリーズ名	作品名	制作年	技法・材質
P-20-1	マティルダ	スープ鉢 ティーポット クリーム入れ 砂糖入れ ティーカップとソーサー ミルク入れ	1963	陶器 陶器 陶器 陶器 陶器 陶器
P-20-2	マティルダ	キャンドルホルダー3種	1963	陶器
P-21	カロリン	花器4種 鉢	1964	陶器 陶器
P-22-1	アフリカ	ライオン(マキシ) ライオン(ミディアム) ライオン(ミニ)	1964	陶器 陶器 陶器
P-22-2	アフリカ	ゾウ トラ	1964	陶器 陶器
P-23	トリたち	トリ3種	1964	陶器
P-24	動物園	ネコ ラクダ サイ カバ ネズミキツネザル	1965	陶器 陶器 陶器 陶器 陶器
P-25-1	大きな動物園	ネコ	1965	陶器
P-25-2	大きな動物園	カンガルー	1965	陶器
P-26	サークル	トリ 蝶	1966	陶器 陶器
P-27	—	カッコウの子供 イソシギ 一対のキジ	1966	陶器 陶器 陶器
P-28	ストロング	花と星形のキャンドルホルダー	1967	陶器
P-29	—	ビッピ	1967	陶器
P-30	近衛兵	—	1967	陶器
P-31	社交的議論	—	1968	陶器
P-32	トリップ・トラップ・	ネコ(トリップ) ネコ(トラップ) ネコ(トロール)	1968	陶器 陶器 陶器
P-33	金の木	小さい木 大きい木	1968	陶器 陶器
P-34	金のノブ	灰皿	1969	陶器
P-35	トランベット	キャンドルホルダー	1969	陶器
P-36	メダリオン	キャンドルホルダー	1969	陶器
P-37	ローザ	—	1970	陶器
P-38	乗り物	熱気球2種 飛行機 ゾウ 車 クジラ	1970	陶器 陶器 陶器 陶器 陶器
P-39	ジュラ	ラクダ 雄牛 サイ カメ 大トカゲ ネコ(大)	1971	陶器 陶器 陶器 陶器 陶器 陶器
P-40	犬舎	ブルドッグ(特大)	1972	陶器
P-41	マスク	アジア 芸者 パブロ	1974	陶器 陶器 陶器

No.	シリーズ名	作品名	制作年	技法・材質
P-42	世界の子供たち	ノース	1974	陶器
		サウス		陶器
		ウェスト		陶器
		イースト		陶器
P-43	北欧の動物園	キツネ	1976	陶器
		シロクマ		陶器
		ヘラジカ		陶器
		クマ		陶器
		トナカイ		陶器
P-44	天使のキャンドルホルダー	—	1976	陶器
P-45	—	花	1977	陶器
P-46	—	ハト	1977	陶器
P-47-1	箱舟	ラクダたち	1978	陶器
		キリンたち		陶器
		リスたち		陶器
P-47-2	箱舟	ライオンのカップル	1978	陶器
P-48	アドヴェント	クリスマスパレードの4人の子供たち	1978	陶器
P-49	ジュリアス&ジュリアナ	ジュリアナ	1978	陶器
		ジュリアス		陶器
P-50-1	世界自然保護基金— 危機に瀕した動物たち	オオヤマネコ	1975	陶器
P-50-2	世界自然保護基金— 危機に瀕した動物たち	バイソン	1978	陶器
P-50-3	世界自然保護基金— 危機に瀕した動物たち	ハリネズミ	1979	陶器
P-50-4	世界自然保護基金— 危機に瀕した動物たち	イヌワシ	1976	陶器
1	—	10代	1975	ブロンズ
2	—	好奇心	1975	ブロンズ
3	—	親指姫	1975	ブロンズ

その他

No.	シリーズ名	作品名	制作年	技法・材質
1	マリン	2つのキャンドルホルダー	1991	陶器
2	マリン	ケーキ大皿	1991	陶器
3	マリン	一対のエッグカップとキャンドルホルダー	1991	陶器
4	マリン	水差し	1991	陶器
5	海	魚	1992	陶器
6	海	魚	1992	陶器

◎印刷物・会場作成物

・図録 A4判変形(24.0×21.3cm) 166頁

内容:

リサ・ラーソンについて(横山いくこ)

図版

UNIQUE PIECES 1950's-60's ユニークピース

UNIQUE PIECES 1970's

UNIQUE PIECES 2000's-

GUSTAVSBERGS FABRIKER 1950's グスタフスベリ・ファブリカ

GUSTAVSBERGS FABRIKER 1960's

GUSTAVSBERGS FABRIKER 1970's

GUSTAVSBERGS FABRIKER 1980's

KERAMIKSTUDION ケラミクスチューディオン

SKANDIA スカンディア

リサの歴史

所蔵家インタビュー

作品リスト

作品コメント

編集:実業之日本社

発行者:村山秀夫

発行所:実業之日本社

印刷所:大日本印刷

発行日:2014年9月30日

・ポスター B2

・チラシ A4

・ジュニアガイド 円形蛇腹三つ折り、直径21cm

デザイン:栗原幸治(Kuri-Labo)

制作:印象社

・パネル

挨拶2枚、章解説5枚、テーマ解説13枚、インタビューテキスト6枚、写真

パネル10枚、その他4枚

・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事

(長文記事は末尾に*、県内媒体の情報のみの記事は省略)

[新聞等]

・朝日ぐんま

8.14

「北欧の人気陶芸家 リサ・ラーソンの代表作230点 館林美術館で30日まで」*

・おおたタイムス

6.20

「館林美術館でリサ・ラーソン展 7月18日から」*

・ぐんま経済新聞

8.20

「リサ・ラーソン展が好評 県立館林美術館」*

・上毛新聞

7.28

「リサ・ラーソン陶芸展 館林美術館 共同制作者の長女に聞く」*

・上毛新聞シャトル

7.29

「館林美術館 リサ・ラーソン展① ネコキャラ生んだ陶芸家 価値観を逆転 斬新に」*(学芸員 松下和美)

7.31

「「ラーソン展」を見学 粘土でレリーフ作り 館林美術館で明和の児童」*

8.5

「館林美術館 リサ・ラーソン展② 日本の形、技に感銘 理想の素材求め研究」*(学芸員 松下和美)

8.12

「館林美術館 リサ・ラーソン展③ 丸みを帯びた動物たち 見る人 和ませる魅力」*(学芸員 松下和美)

8.19

「館林美術館 リサ・ラーソン展④ 夏過ぎす別荘も紹介 愛用の道具や写真で」*(学芸員 松下和美)

9.9

「北欧の人気陶芸家展」

・両毛新聞

7.21

「リサ・ラーソン展 群馬県立館林美術館」

[定期刊行物]

・美術の窓

8月号

「リサ・ラーソン展～北欧スウェーデンより、ネコや鳥や少女の陶芸～」(親子で行きたい!夏休み必見展覧会)

・美術屋 百兵衛

No.34

「リサ・ラーソン展～北欧スウェーデンより、ネコや鳥や少女の陶芸～」

・渡良瀬通信

8月号

「群馬県立館林美術館 リサ・ラーソン《トリップ・トラップ・トロール》」(誌上美術館)*(学芸員 松下和美)

・NHKウィークリーステラ

7/17、8/28号

「リサ・ラーソン展」

・raifu

◎放送

[テレビ]

・NHK前橋

7.15、8.4

「リサ・ラーソン展」〈群馬の気象情報・お知らせ〉

・群馬テレビ

8.10

「リサ・ラーソン展」〈ニュースeye8〉

・館林ケーブルテレビ

8.17-23

「スウェーデンの陶芸家「リサ・ラーソン展」開催中」〈う・ら・ら〉

7.31-8.3

「リサ・ラーソン展」〈CC9ニュース〉

[ラジオ]

・FM太郎

7.14

「リサ・ラーソン展」について〈ぐんまいきいき情報〉

・FM桐生

7.14

「リサ・ラーソン展」について〈ぐんまいきいき情報〉

8.20

「ワークショップ「アニマルこぼしを作ろう！」」〈ぐんまいきいき情報〉

1.12

「たてび☆びじゅつ部 アンコール企画「粘土で作るリサ・ラーソン風動物レリーフ」のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉

・FM群馬

7.21

「企画展示「リサ・ラーソン展」」〈ぐんま情報トッピング〉

◎関連事業

・たてび☆びじゅつ部

8.1

「粘土で作るリサ・ラーソン風動物レリーフ」

1.17

アンコール企画「粘土で作るリサ・ラーソン風動物レリーフ」

・ワークショップ

8.22

「アニマルこぼしを作ろう！」

協力:群馬県立女子大学 奥西ゼミ

・学芸員による作品解説会

7.28、8.2、8.29

・たてび☆キッズウォーク

7.25、8.8



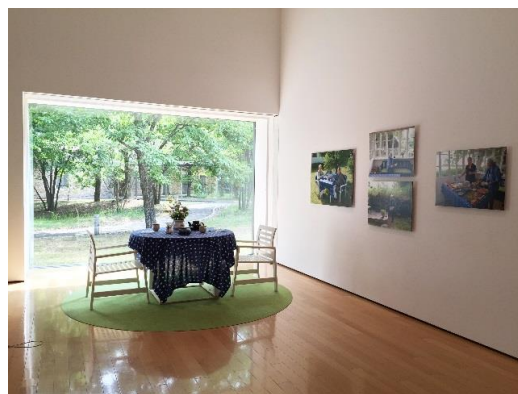
展示室2



展示室3



展示室4



展示室4

3. 舟越桂 私の中的スフィンクス

会期 平成27年9月19日(土)～12月6日(日)
 会場 展示室2、3、4
 主催 群馬県立館林美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
 協賛 ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網
 企画協力 西村画廊
 観覧料 一般:820(650)円、大高生:410(320)円
 ()内は20名以上の団体割引料金

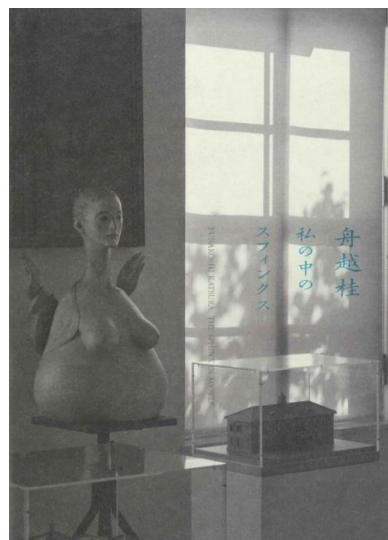
発想が生んだ異形の姿が展開する創造の醍醐味を、彫刻、素描、版画あわせて約70点によって紹介した。

日本を代表する木彫家、舟越桂(1951～)の大規模な回顧展。日常の服を着て静かに遠くをみつめる初期の半身像によって、今を生きる人々の心を掴んだ舟越の造形は、人間の存在を大きな山のイメージに重ね、人間の不思議さや深さを追いかけて続けるうちに、スフィンクスのシリーズに到達する。この過程で舟越は、20年以上試みることのなかった裸体像を再び表現するようになり、西洋の美の規範と自国の文化とを時間や場所を越えて統合してゆく。

本展では、初期から最新作までの流れをふまえつつ、自由な



ポスター



図録



ジュニアガイド

出品目録

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵
1	「会議」のための習作	1980	楠に彩色	63.0×38.7×31.5	岩手県立美術館
2	ルディーの走る理由	1982	楠に彩色、大理石	75.5×49.0×22.5	野木町(栃木県立美術館寄託)
3	森へ行く日	1984	楠に彩色、大理石、ゴム・チューブ	79.0×49.0×24.0	作家蔵
4	消えない水滴	1986	楠に彩色、大理石	80.0×52.5×26.0	兵庫県立美術館
5	ラムセスにまつわる記憶	1986	楠に彩色、大理石	80.5×57.0×22.0	石巻文化センター
6	冬の本	1988	楠に彩色、大理石	76.0×36.0×24.0	作家蔵
7	銀の扉に触れる	1990	楠に彩色、大理石	92.5×59.7×29.3	国立国際美術館
8	遅い振り子	1992	楠に彩色、大理石、鉄	91.0×58.2×44.2	東京都現代美術館
9	青いガラスの夜	1993	楠に彩色、大理石	88.0×52.5×29.5	個人蔵
10	壁際に立つ山	1996	楠に彩色、大理石	91.0×60.5×27.0	個人蔵
11	そこだけの冬	1997	楠に彩色、大理石、ブリキ	87.0×37.0×38.0	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
12	凍ったはしご	1997	楠に彩色、大理石、鉄	82.0×43.7×34.0	個人蔵
13	冬の先触れ	1999	楠に彩色、大理石、ブリキ、鉄	84.0×58.0×35.0	軽井沢ニューアートミュージアム
14	山を包む私	2000	楠に彩色、大理石	96.0×58.0×37.0	個人蔵
15	山を立てる	2001	楠に彩色、大理石、鉄、ワイヤー	93.8×79.4×42.5	北海道喜茂別町中山峠森の美術館
16	肩に残る声	2002	楠に彩色、大理石	97.5×55.0×33.0	鈴木純
17	雪の上の影	2002	楠に彩色、大理石	129.0×70.0×46.0	札幌芸術の森美術館
18	夜は夜に	2003	楠に彩色、大理石	97.0×57.0×39.0	北海道立旭川美術館
19	点の中の距離	2003	楠に彩色、大理石	91.0×55.0×30.0	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
20	水に映る月蝕	2003	楠に彩色、大理石	90.0×55.0×47.0	作家蔵
21	言葉をつかむ手	2004	楠に彩色、大理石	98.0×62.0×42.0	作家蔵
22	戦争をみるスフィンクス	2005	楠に彩色、大理石、革	100.0×49.0×33.0	個人蔵
23	戦争をみるスフィンクス	2006	楠に彩色、大理石、革	97.0×57.5×34.0	個人蔵
24	バッタを食べる森のスフィンクス	2008	楠に彩色、大理石、革、雑木、鉄	239.0×124.0×125.0	個人蔵
25	もうひとりのスフィンクス	2010	楠に彩色、大理石、革	100.0×52.0×34.0	西村画廊
26	誰の眼とあるか、スフィンクス？	2011	楠に彩色、大理石、ガラス、革、ステンレススチール	108.5×54.0×34.0	作家蔵
27	月の降る森	2012	楠に彩色、大理石	157.5×51.0×91.0	メナード美術館
28	荒れ野で見る夢	2013	楠に彩色、大理石、雑木	147.0×55.0×67.5	個人蔵
29	不思議な森	2014	楠に彩色、大理石	203.0×59.0×90.0	作家蔵
30	森のようにひとり	2015	楠に彩色、大理石	112.0×50.0×30.0	作家蔵
31	「冬の本」のためのドローイング	1988	紙に鉛筆	83.5×90.0	個人蔵
32	「遅い振り子」のためのドローイング	1992	紙に鉛筆	97.3×86.1	個人蔵
33	立ちのぼる顔	1993	紙に水彩、インク、墨、修正液	77.0×54.5	作家蔵
34	DR9642	1996	紙に鉛筆	87.5×90.5	読売新聞社
35	DR9764(「凍ったはしご」のためのドローイング)	1997	紙に鉛筆	99.5×90.3	個人蔵
36	夜の園の番人	1997	紙にインク、墨、木炭、修正液	63.0×28.5	作家蔵
37	月の出る前	1998	紙にアクアチント、スピットバイト、ドライポイント	131.8×103.8	協力:アンドーギャラリー
38	「書庫に潜む豹」のための習作	1998	紙に木炭	31.5×28.5	作家蔵
39	「雲の庭」のための習作	1999	紙にインク、修正液	26.7×19.0	作家蔵
40	「支えられた記憶」のための習作	1999	紙にインク	26.7×19.0	作家蔵
41	DR0003(「山を包む私」のためのドローイング)	2000	紙に鉛筆	108.5×91.1	個人蔵
42	「さなぎを舞う」のための習作	2000	紙にインク、修正液	29.5×21.0	作家蔵
43	習作	2001	紙に墨	135.0×69.5	作家蔵
44	「山を立てる」のためのドローイング	2001	紙に鉛筆	100.0×90.5	作家蔵
45	「雪の上の影」のためのドローイング	2002	紙に鉛筆	115.5×90.3	作家蔵

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵
46	「夜は夜に」のためのドローイング	2002	紙に鉛筆、水彩	99.6×90.0	北海道立旭川美術館
47	幅跳びの裸婦	c.2002	紙に鉛筆	105.0×89.0	作家蔵
48	習作	c.2002	紙にインク、墨	27.0×19.0	作家蔵
49	「水に映る月蝕」のためのドローイング	2003	紙に鉛筆	98.0×90.0	作家蔵
50	津田ウメ子 (花の帽子の少女)(大江健三郎『二百年の子供』)	2003	紙に鉛筆	41.0×31.0	作家蔵
51	首の長い女性	2004	紙に木炭、墨	46.0×38.5	作家蔵
52	手のある裸婦	2004	紙に鉛筆	94.0×91.0	作家蔵
53	習作	2004	紙に木炭	37.5×26.5	作家蔵
54	砂漠で見る夢	2005	紙にダイレクトグラビア、エンブレイヴィング、ドライポイント	75.5×57.0	協力:アンドーギャラリー
55	「戦争をみるスフィンクス」のための習作	2006	紙に木炭、コンテ	39.5×27.5	作家蔵
56	「森に浮くスフィンクス」のための習作	2006	紙にインク、水彩、修正液	43.5×31.0	作家蔵
57	DR0623(「戦争をみるスフィンクスⅡ」のためのドローイング)	2006	紙に鉛筆	101.0×90.0	個人蔵
58	DR1020	2008	紙、フィルムに鉛筆、コンテ、色鉛筆	61.0×46.0	作家蔵
59	「浮く人」のための習作	2008-2009	紙に鉛筆、パステル、油彩	104.0×89.0	作家蔵
60	「さなぎを舞う」のための習作	2009	紙にインク、水彩、修正液、ボールペン、アクリル	54.7×39.7	作家蔵
61	DR1008	2009	フィルムに鉛筆、色鉛筆	50.0×44.0	個人蔵
62	DR1005	2010	紙、フィルムに鉛筆、色鉛筆	54.5×42.5	J. SUZUKI
63	DR1009	2010	紙、フィルムに鉛筆、色鉛筆	54.5×41.0	個人蔵
64	「深い森」のためのドローイング	2011	紙にアクリル	109.0×78.9	作家蔵
65	「荒れ野で見る夢」のためのドローイング	2012	紙に鉛筆、パステル、色鉛筆、ボールペン	39.5×27.3	作家蔵
66	大切な言葉	2013	紙にメゾチント	69.5×53.0	協力:アンドーギャラリー
67	オーロラを見るスフィンクス	2013	紙にメゾチント	69.5×53.0	協力:アンドーギャラリー
68	習作	2014	紙に木炭、パステル	54.5×39.5	作家蔵
69	スケッチブック(大小13冊)				作家蔵

◎印刷物・会場作成物

・図録 A4判変形(29.5×21.0cm) 160頁

内容:

見えない姿、新しい形(舟越桂)

目次

II 私に見える人たち

待たれる人々(小川洋子)

III 私の中のスフィンクス

エクソトピアー 舟越桂のドローイング(星野太)

準備の記(出原均)

作品リスト

年譜

主要参考文献

著者:舟越桂

編者:出原均(兵庫県立美術館)

江上ゆか(兵庫県立美術館)

神尾玲子(群馬県立館林美術館)

毛利伊知郎(三重県立美術館)

田中善明(三重県立美術館)

塩田純一(新潟市美術館)

星野立子(新潟市美術館)

発行者:足立欣也

発行所:株式会社求龍堂

装幀:佐々木暁

編集:清水恭子(求龍堂)

翻訳:スタンリー・N・アンダソン

印刷・製本:図書印刷株式会社

発行日:2015年6月27日

・ポスター B2

・チラシ A4

・ジュニアガイド 蛇腹折り、18.2×76.2cm

デザイン:林琢真(Hayashi Takuma Design Office.)

制作:ライブアートブックス

・パネル

挨拶1枚、章解説4枚、年譜1枚、写真パネル2枚

・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事

(長文記事は末尾に*、県内媒体の情報のみの記事は省略)

〔新聞等〕

・朝日ぐんま

11.20

「舟越桂 私の中のスフィンクス展 館林美術館 来月6日まで「人間の奥深さ」追求する木彫70点」

・とちぎ朝日

10.9

「群馬県立館林美術館 企画展「舟越桂展 私の中のスフィンクス」〈展覧会ガイド〉

・大阪日日新聞

9.15

「美のかたち芸術のことは 阪大アートメディア論研究室 6 照応する彫刻と絵画」*

・おおたタイムス

8.22

「舟越桂展 私の中のスフィンクス 県立館林美術館」

・桐生タイムス

8.20

「彫刻家・舟越桂さんを紹介 来月から県館美企画展」

・産経新聞

11.20

「舟越桂 私の中のスフィンクス」〈開催中です！〉

・上毛新聞

9.21

「「人間の不思議 追う」館林美術館で企画展 彫刻家・舟越さん講演」*

11.10

「舟越桂展・県立館林美術館 初期彫刻から「スフィンクス」好奇心の足跡を追う」*

・上毛新聞シャトル

9.16

「館林美術館 舟越桂 私の中のスフィンクス① 今を生きるリアルさ」* (学芸員 神尾玲子)

9.30

「館林美術館 舟越桂 私の中のスフィンクス② モデルの姿離れ自由に」* (学芸員 神尾玲子)

10.14

「館林美術館 舟越桂 私の中のスフィンクス③ 人間の奥深さを象徴」* (学芸員 神尾玲子)

10.28

「館林美術館 舟越桂 私の中のスフィンクス④ 西洋と自らの表現 融合」* (学芸員 神尾玲子)

10.16	・FM群馬
「文化の秋 展覧会へ 彫刻や絵画など 10月28日県民の日」(群馬・県民の日特集)	9.15
9.19(夕刊)	「「舟越桂 私の中的スフィンクス」作品解説のお知らせ」〈ぐんま情報トップページ〉
「父 継続から変化 美の追求 舟越 桂さん 彫刻家」*	・FM太郎
・両毛新聞	9.24
8.31	「「舟越桂 私の中的スフィンクス」のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉
「舟越桂展 群馬県立館林美術館」	

〔定期刊行物〕

- ・月刊アートコレクターズ

10月号

「新作彫刻に未公開ドローイングも含む約70点を展示！ 眼差しの向こうにある世界」

- ・ギャラリー

6月号

「舟越桂 私の中的スフィンクス」*〈Special Exhibition〉

- ・美術の窓

8月号

「眼差しの向こうへ 舟越桂が彫り出す「顔」」*〈人間の「顔」目・鼻・表情……その魅力はどこにある？〉

- ・ミセス

11月号

「舟越桂 私の中的スフィンクス」〈Art〉

- ・Seoul Art Guide

11月号

◎関連事業

- ・舟越桂 アーティストトーク

9.19

- ・記念講演会

9.20

講師:舟越桂

- ・映画上映会「≡(ニア・イコール)舟越桂」

10.18

協力:NPO法人たかさきコミュニティシネマ

- ・たてび☆びじゅつ部

10.3、11.21 「みがいてつるつる～木を感じよう」

材料提供:舟越桂、福島工務店

- ・学芸員による作品解説会

9.23、10.10、11.1、11.12

- ・たてび☆キッズウォーク

9.23、10.17、11.14、12.5

◎放送

〔テレビ〕

- ・NHK

11.15

「舟越桂 私の中的スフィンクス」〈日曜美術館アートシーン〉

- ・BS日テレ

11.20

「館林美術館で彫刻SP!「舟越桂」展・ポンポンの名作「シロクマ」」〈ぶらぶら美術博物館〉

〔ラジオ〕

- ・FM桐生

9.15

「「舟越桂 私の中的スフィンクス」のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉

10.8

「「舟越桂 私の中的スフィンクス」作品解説のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉



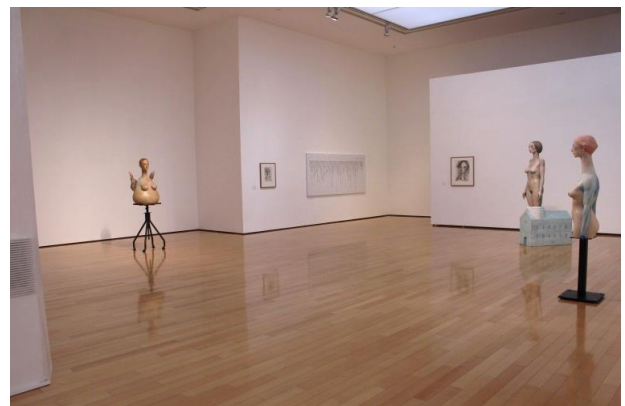
展示室2



展示室3



展示室4



展示室4

4. ガンドゥール美術財団の至宝 古代エジプト美術の世界展—魔術と神秘—

会期 平成28年1月5日(火)～3月21日(月・祝)
 会場 展示室2、3、4
 主催 群馬県立館林美術館／NHKサービスセンター
 後援 スイス大使館、エジプト大使館 文化・教育・科学
 局、外務省
 協力 スイス インターナショナル エアラインズ、日本航
 空、ハーシュ・トランスポート、日本通運、XL保険
 監修 ロバート・スティーヴン・ビアンキ
 企画協力 アートプランニングレイ
 観覧料 一般 820円(650)円、大高生410円
 ()内は、20名以上の団体割引料金

紀元前3000年頃、ナイル川の流域で誕生したエジプト文明は、巨大なピラミッドや壮麗な神殿を築き、長きにわたり栄えた。今日、古代エジプト美術と呼ばれるものの多くは、神の代理人であり国を統治する王(ファラオ)と、王を取り巻く社会の上層の人々(エリート)の墓に納められた絵画やレリーフ、彫像や装飾品などである。そこには彼らの生活習慣のみならず宗教や思想までもが映し出され、今なお神秘的の光を放っている。本展は、その古代エジプト美術の魅力を、「魔術」をキーワードに紐解こうと

するものである。

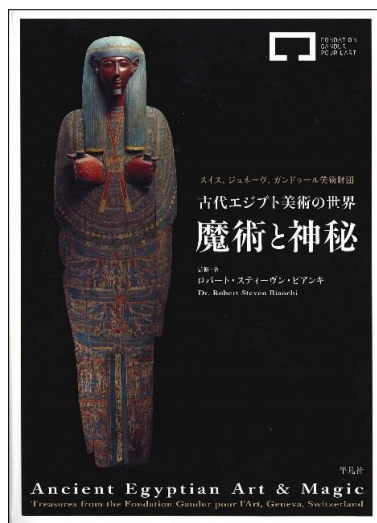
魔術的な力を帯びるとされたヒエログリフ、神性をそなえた石や貴金属の素材、象徴的な意味と結びつけられた色に着目することで、永遠に命が続くことを渴望したエジプトの人々の強い来世信仰と世界観が浮き彫りとなった。

出品作品約150点は、世界屈指の古代エジプト美術コレクションで知られるスイス・ジュネーヴのガンドゥール美術財団の所蔵品であり、全て日本初公開のものである。本展に出品された石碑やレリーフ、アミュレット(お守り)、宝飾品などの貴重な作品の数々は、古代エジプト美術の世界の魅力を伝え、多くの来館者に楽しまれる展覧会となった。

会期中は、専門家を迎えての会場でのトークや、所蔵作家ポンボンと古代エジプト美術の影響についてのレクチャー、古代エジプトのお守りを作るワークショップやエジプトにちなんだ歌曲のコンサートなど、多彩な関連事業を開催した。



ポスター



図録



ジュニアガイド

出品目録

I ヒエログリフの魔術

No.	作品名	制作年	寸法(cm)	材質
1	書記学校の古代模型	エジプト中王国(2134-1785 BC)	27.0×42.8×21.2	着色された木
2	筆記具とトの化身をもつ書記官の像	エジプト末期王朝(664-332 BC)	8.7×3.1×4.2	ブロンズ
3	神格化されたイムホテプの像	エジプト末期王朝(664-332 BC)	14.0×4.8×7.6	ブロンズ
4	ト神の像	エジプト末期王朝(664-332 BC)	14.7×3.1×5.0	ブロンズ
5	ヒヒのアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	4.5×2.3×3.5	ファイアンス
6	聖なるトキと女神マアトのアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	2.7×1.2×3.4	ファイアンス
7	トキの頭部をもつ男性像で表わされたト神のアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	12.3×3.3×4.9	ファイアンス
8	ヒヒの杖の装飾	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	17.4×4.3×4.3	ブロンズ
9	前後を見分ける聖なる目のアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	8.8×12.2×1.5	ファイアンス
10	太陽石板を掲げるエリート層の高官マフの像	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC)	41.8×12.5×20.0	着色された砂岩
11	ニアクネストの墳墓から出土した捧げものを運ぶ担ぎ手たちのレリーフ	エジプト古王国(2635-2155 BC)	a) 49.0×48.0×5.0 b) 51.0×55.5×5.0 c) 50.5×96.0×5.0	着色された石灰石
12	ニアクネストの墳墓から出土した捧げものを運ぶ担ぎ手たちの別のレリーフ	エジプト古王国(2635-2155 BC)	46.5×44.5×2.8	着色された石灰石
13	デュウティネフェルの墳墓から出土したレリーフ	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC)	49.5×93.6×3.4	石灰石
14	シェプセスカエフアンのレリーフ	エジプト古王国(2635-2155 BC)	49.5×18.8×2.5	着色された石灰石
15	ネフェルホテプの墳墓から出土したレリーフ	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC) 後期	37.3×59.4×3.3	着色された石灰石
16	墳墓から出土したレリーフ、所有財産の記録	エジプト古王国(2635-2155 BC)	41.8×94.8×2.0	石灰石
17	墳墓へ副葬品を運ぶ担ぎ手たちを率いる祭儀神官	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC)	41.2×75.3×6.3	石灰石
18	2つの記録がのこる墳墓のレリーフ	エジプト中王国(2134-1785 BC)	57.6×27.5×6.0	石灰石
19	アレクサンダー大王の名前の彫られたレリーフ	マケドニア王朝エジプト(332-305 BC)	41.0×70.0×5.5	着色された石灰石
20	ファラオ・ラメセス3世の建てた祭儀神像を記念する石碑	エジプト新王国、ラーメス時代、第20王朝(1185-1080 BC)、ラメセス3世の治世	83.0×47.5×4.0	石灰石
21	プター神に仕える神官の頭部像	エジプト新王国、ラーメス時代、第19王朝(1305-1185 BC)	28.0×20.0×18.0	珪岩
22	呪いの人形	エジプト中王国(2134-1785 BC)	10.7×4.1×2.9	アラバスター (トラバーチン/石灰華)
23	古代に修正されたセト神の像	エジプト新王国、ラーメス時代、第19王朝(1305-1185 BC)	19.3×5.0×5.8	貴金属の象嵌のあるブロンズ
24	モントゥスと妻の像	エジプト中王国、第12王朝(1994-1785 BC)	21.2×10.0×9.5	硬石(おそらく花崗岩)
25	サウホルの角像	エジプト第3中間期、第21-24王朝(1080-775 BC)	24.0×15.8×20.5	玄武岩
26	捧げもののテーブル	プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	41.0×32.6×12.0	花崗閃緑岩
27	クロコダイルに乗るホルスのシブス(魔術的石板)	プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	17.8×12.9×2.9	結晶質のアラバスター

II 素材の魔術

28	壺製作の工房を描いた古式風レリーフ	エジプト第3中間期、第25王朝(775-664 BC)～エジプト末期王朝、第26王朝(664-525 BC)	43.0×103.0×6.5	石灰石
29	トキの壺	王朝誕生前のエジプト(4000-3200 BC)～エジプト原始王朝(3000-2955 BC) 初期	5.8×5.8×11.3	花崗閃緑岩
30	カエルの壺	エジプト初期王朝(2955-2635 BC)	2.8×6.3×7.7	蛇紋石
31	ライオンの頭部を把手にした壺のミニチュア	エジプト初期王朝(2955-2635 BC)	5.2×5.1×2.9	蛇紋石
32	ファラオ・ラメセス2世への献辞が彫られた壺	エジプト新王国、ラーメス時代、第19王朝(1305-1185 BC)	40.5×26.1×20.7	アラバスター (トラバーチン/石灰華)
33	動物の頭部を把手にしたアンフォラ	エジプト新王国、ラーメス時代、第19王朝(1305-1185 BC)	40.0×32.0×25.0	アラバスター (トラバーチン/石灰華)

No.	作品名	制作年	寸法(cm)	材質
34	高官ネスアムンエニベトと彫られた壺	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	48.2×33.0×25.5	アラバスター (トラバーチン/石灰華)
35	ネヘが彫られた円筒形鎮墓石碑	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC) 後期	93.3×53.7×6.5	石灰石
36	書記官の頭部像	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC)	28.0×35.5×29.0	花崗閃緑岩
37	白冠をかぶったひざまずくファラオの像	エジプト末期王朝(664-332 BC)	17.5×5.4×5.9	ブロンズ
38	ファラオ・プサメティクと彫られた鎮墓像	エジプト末期王朝、第26王朝(664-525 BC)	17.5×5.4×5.9	ブロンズ
39	高官ホリの像	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	10.5×4.6×6.2	貴金属で象嵌されたブロンズ
40	トキの像	エジプト末期王朝(664-332 BC)	17.5×9.0×26.7	木、ブロンズ
41	聖なるトキの描かれた棺	エジプト末期王朝(664-332 BC)	24.2×21.5×43.5	着色された木
42	トキのミイラにつけられたトキの頭部像	エジプト末期王朝(664-332 BC)	4.8×4.5×55.5	石膏下地に金箔押しし、象嵌された木
43	トキのミイラにつけられたトキの頭部像	エジプト末期王朝(664-332 BC)	6.5×5.6×55.0	石膏下地に金箔押しし、象嵌された木
44	トキのミイラにつけられたトキの頭部像	エジプト末期王朝(664-332 BC)	6.4×5.5×52.0	石膏下地に金箔押しし、象嵌された木
45	トキのミイラにつけられたトキの頭部像	エジプト末期王朝(664-332 BC)	5.8×3.9×44.2	石膏下地に金箔押しし、象嵌された木
46	トキのミイラにつけられたトキの頭部像	エジプト末期王朝(664-332 BC)	6.7×5.2×49.7	石膏下地に金箔押しし、象嵌された木
47	カバの像	エジプト中王国(2134-1785 BC)	4.4×3.0×8.5	銅
48	カバの像	エジプト中王国(2134-1785 BC)	10.8×8.4×23.5	ファイアンス
49	カバの像	エジプト末期王朝、第26王朝(664-525 BC)	5.4×3.6×9.8	金箔押しした石灰石
50	カバのアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	1.5×1.0×2.1	玉髄(カルセドニー)
51	混成の女神タウエレットのアミュレット	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC)	3.5×1.9×0.5	ファイアンス
52	混成の女神タウエレットのアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	6.5×1.9×2.7	ファイアンス
53	雄羊の頭部を捧げる混成の女神タウエレットの像	エジプト新王国、ラーメス時代、第19-20王朝(1305-1080 BC)	17.2×5.0×10.5	片岩(グレーワッケ)
54	聖なる雄牛アピスの彫像	プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	42.0×19.7×59.6	花崗閃緑岩
55	聖なる雄牛アピスの像	エジプト末期王朝、第26王朝(664-525 BC)	16.0×6.5×16.0	ブロンズ
56	闘う雄牛の描かれた水筒	エジプト末期王朝、第26王朝(664-525 BC)	10.8×11.5×7.2	ファイアンス
57	雌牛の頭部のついたイーギス(聖なる道具)	エジプト末期王朝(664-332 BC)	9.8×8.6×3.2	ブロンズ
58	雌牛の頭部をもつ女神ヘザトの像	エジプト末期王朝(664-332 BC) ~ プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	28.0×5.8×14.5	金の象嵌のあるブロンズ
59	ネコの像	エジプト末期王朝(664-332 BC)	23.2×9.1×18.1	ブロンズ
60	ネコのミイラのための棺	エジプト末期王朝(664-332 BC)	25.1×9.9×12.4	金箔押しした木
61	女神バステトの像	エジプト末期王朝、第30王朝(380-342 BC)	20.1×5.2×7.2	ブロンズ、金
62	鎮座する女神ウアジェトの彫像	エジプト末期王朝、第26-30王朝(664-342 BC)	57.5×12.3×23.8	象嵌のあるブロンズ
63	ネコのアミュレット	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	2.9×0.9×1.9	ヘマタイト
64	ネコのアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	7.6×2.0×4.5	銀
65	ネコのアミュレット	エジプト新王国(1554-1080 BC)	2.5×1.0×1.7	水晶
66	妊娠したネコの像	エジプト末期王朝(664-332 BC) ~ プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	7.5×3.4×7.7	ブロンズ
67	子ネコを抱えるネコの像	エジプト末期王朝(664-332 BC) ~ プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	3.9×8.0×3.5	ファイアンス
68	一対のライオンの頭部像	エジプト末期王朝(664-332 BC)	20.5×17.0×14.0 21.0×16.7×13.0	着色された石膏 着色された石膏
69	アムン神のガチョウの像	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC)	33.5×13.2×38.8	石膏下地に着色された木、ブロンズ
70	おそらく聖なる船から出土した雄羊の頭部像	エジプト第3中間期、第25王朝(775-664 BC) ~ エジプト末期王朝、第27王朝(525-404 BC)	15.4×17.5×20.5	白と黒の石とブロンズで象嵌された木

No.	作品名	制作年	寸法(cm)	材質
71	雄羊の像	エジプト第3中間期、第25王朝(775-664 BC)～エジプト末期王朝、第30王朝(380-342 BC)	11.4×3.6×10.5	ブロンズ
72	雄羊の頭部をもつ大胯で歩く男性像のアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)～プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	3.9×1.0×1.6	ファイアンス
73	4つの頭部をもつ雄羊のアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	2.0×1.0×2.2	ラピスラズリ
74	エジプトの主神アムンとアムンのバー(自然元素の力の集合体)	エジプト末期王朝(664-332 BC)～プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	21.7×16.5×9.9	金で象嵌されたブロンズ
75	鎮座するオシリスの像	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	29.8×8.5×13.0	もとは豪華に象嵌されたブロンズ
76	神の子に授乳する女神の像	エジプト末期王朝(664-332 BC)～プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	38.6×10.6×11.3	ブロンズ
77	神の子ホルスに授乳する女神イシスの像	エジプト末期王朝(664-332 BC)	12.4×3.5×6.5	ファイアンス
78	オシリス一家のアミュレット、女神イシスと幼児ホルス、女神ネフテュス	エジプト末期王朝、第26王朝(664-525 BC)	4.0×2.5×1.4	ファイアンス
79	1体のミイラから出土した有翼の女神とホルスの4人の息子たちを表わす作例	エジプト末期王朝(664-332 BC)	イシス: 6.9×13.6×0.5 4人の息子たち ドゥアムトエフ: 5.5×1.5×0.3 ケベフセヌエフ: 5.2×1.4×0.4 イムセティ: 5.3×1.3×0.5 ハピー: 5.4×1.5×0.4	ファイアンス ファイアンス ファイアンス ファイアンス ファイアンス
80	女神イシスのアミュレット	エジプト第3中間期(1080-664 BC)～エジプト末期王朝(664-332 BC)	3.5×0.8×1.2	金
81	幼児ホルスのアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	2.5×0.6×0.9	金
82	女神イシス-サテトのアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	7.2×1.3×2.0	銀
83	女神のアミュレット	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	4.6×0.7×0.6	金
84	サソリになった女神イシスの杖の装飾	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	11.3×3.4×8.0	ブロンズ
85	人間の頭部をもつサソリのアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)～プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	1.2×1.0×2.3	金
86	聖鳥バーのアミュレット	エジプト末期王朝、第26-30王朝(664-342 BC)	2.0×5.1×0.7	象嵌のほどこされた金
87	つながれた聖鳥バーのアミュレット	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	5.7×3.3×5.0	凍石
88	ハヤブサのアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	5.7×2.1×4.8	紅玉髓(カーネリアン)
89	ハヤブサの頭部をもち身をかがめる男性像のアミュレット	エジプト第3中間期(1080-664 BC)～エジプト末期王朝(664-332 BC)	2.0×0.9×1.2	長石(?)
90	ハヤブサの彫像	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	45.5×20.2×45.0	ブロンズ
91	ふせるジャッカル像	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	33.6×7.3×48.2	着色された木
92	立ちあがるジャッカルのアミュレット	エジプト古王国(2635-2155 BC)	2.4×0.4×2.4	金
93	ふせるジャッカルインレー(象嵌パーツ)	エジプト末期王朝(664-332 BC)	9.1×21.0×1.7	金箔押しした練りガラス
94	おそらくウェブワウトを表わす聖なるジャッカル像、杖の装飾	エジプト末期王朝(664-332 BC)	14.6×3.3×16.4	ブロンズ
95	ハートスカラベ	エジプト新王国(1554-1080 BC)	3.2×4.9×7.2	橄欖岩(ペリドット)
96	スカラベ	エジプト新王国(1554-1080 BC)	2.9×4.8×6.2	緑色石
97	スカラベ	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC)	0.7×1.1×1.7	金
98	スカラベ	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC)	0.4×0.8×1.1	金
99	雄羊の頭部をもつスカラベ	エジプト末期王朝、第26王朝(664-525 BC)	1.4×1.5×1.9	ヘマタイト
100	2匹のカエルのアミュレット、小ガエルをおぶう大ガエル	エジプト中王国、第12王朝(1994-1785 BC)	2.5×3.4×4.8	灰色の石
101	カエルのアミュレット	エジプト新王国(1554-1080 BC)	5.5×5.0×7.0	花崗岩
102	カエルのアミュレット	エジプト中王国(2134-1785 BC)	2.9×2.5×3.6	ファイアンス
103	カエルのアミュレット	エジプト初期王朝(2955-2635 BC)	2.5×2.7×2.7	水晶
104	カエルのアミュレット	エジプト新王国(1554-1080 BC)	1.2×1.0×0.9	紅玉髓(カーネリアン)
105	カエルのアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	0.7×2.0×1.3	紅玉髓(カーネリアン)

No.	作品名	制作年	寸法(cm)	材質
106	2匹のカエルが花びらにとまる様子を表わした指輪	エジプト新王国、ラーメス時代、第19-20王朝 (1305-1080 BC)	3.0×2.6×1.1	紅玉髓(カーネリアン)
107	子ザルを抱くサルのアミュレット	エジプト新王国(1554-1080 BC)～エジプト第3中間期(1080-664 BC)	4.3×0.4×2.3	碧玉(ジャスパー)
108	サルとその子ども	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	9.0×2.9×4.4	ファイアンス
109	ベスのアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	5.3×2.2×1.5	ファイアンス
110	笛吹きのアミュレット	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	4.8×2.2×2.5	ファイアンス
111	パタイコス神のアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	8.2×3.8×3.0	ファイアンス
112	クロコダイルのアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	2.6×2.9×12.2	ファイアンス
113	クロコダイルの体にハヤブサの頭部をもつ混成獣のアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	3.3×2.5×8.9	凍石
114	横を向いたライオンのアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	2.1×1.0×3.4	ファイアンス
115	野ウサギのアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	3.3×1.4×5.3	ファイアンス
116	おそらくネヘブカウ神を表わすヘビの頭部をもつ男性像	エジプト末期王朝(664-332 BC)	22.7×5.3×7.9	ブロンズ
117	ウラエウス(鎌首をもたげる聖なるコブラ)のアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	8.0×2.0×4.8	ファイアンス
118	女神メトセジェルのアミュレット、「静寂を愛する人」	エジプト新王国、ラーメス時代、第19-20王朝 (1305-1080 BC)	8.5×3.5×5.9	ファイアンス
119	ファラオを描いたレリーフ	エジプト末期王朝、第30王朝(380-342 BC)	15.8×14.8×2.2	石灰石
120	女王あるいは女神の胸像	エジプト新王国、ラーメス時代、第19-20王朝 (1305-1080 BC)	12.7×8.2×6.9	石灰石
121	ネフェルトウム神の像	エジプト末期王朝、第26王朝(664-525 BC)	20.6×4.4×7.2	ブロンズ
122	マーシュボウル(水草のある沼地を表わすボウル)	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC)	3.6×13.5	ファイアンス
123	パピルスの花(散形花)のアミュレット	エジプト末期王朝(664-332 BC)	6.4×2.0	ファイアンス
124	ハスの花の聖杯	エジプト新王国(1554-1080 BC)	7.2×5.0	ファイアンス
125	ブター-ソカルー オシリス神の像	プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	46.8×10.3×32.0	着色された木
126	沼地の水鳥を運ぶ女性像のついた化粧用スプーン	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC)	19.0×4.8×0.7	木(イチジクの木の種類)
127	化粧箱	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC)	4.6×7.1×18.1	青い顔料を使った木
128	ハヤブサの頭部の装飾金具がついた副葬のための襟飾り	プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	44.0×2.8×0.3	半貴石と練りガラスのついた金
129	アミュレットのネックレス	エジプト末期王朝、第26-30王朝(664-342 BC)	36.0×1.7×0.3	金、ラピスラズリ
130	壺を抱く2匹のサルの化粧用容器	エジプト新王国(1554-1080 BC)	6.0×5.8×2.4	凍石
131	ひとつにつながれた鳥の化粧用皿	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC)もしくはそれ以後	10.5×8.5×3.3	片岩(硬砂岩)
132	混成の女神タウエレットの姿をした女王ティイ(?)のアミュレット	エジプト新王国、第18王朝(1554-1305 BC)	7.0×2.1×3.2	アラバスター(トラバーチン/石灰華)
133	ホルエムアクトの人型の棺	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	204.4×51.0×40.5	象嵌のある木(マツ科の針葉樹レバノンスギか?)
134	呪文125のビネット、通称『死者の書』より	プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	38.5×112.0	パピルス、インク
135	ブター神と捧げものを運ぶ担ぎ手たち	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	26.5×16.0×8.5	金で象嵌されたブロンズ
136	高官ジュウティモセを表わすヒビの頭部をもつ鎮墓人形	エジプト新王国、ラーメス時代、第19王朝(1305-1185 BC)	26.8×9.9×6.6	石灰石
137	ファラオ・シプターの鎮墓人形	エジプト新王国、ラーメス時代、第19王朝(1305-1185 BC)	21.3×7.3×5.5	着色されたアラバスター
138	ファラオ・ラメセス9世の鎮墓人形	エジプト新王国、ラーメス時代、第20王朝(1185-1080 BC)	30.8×10.2×7.1	木

III 色の魔術

139	エリート層の貴婦人ヘナトの彫られた墳墓の偽扉	エジプト古王国(2635-2155 BC)	109.9×64.8×8.5	着色された石灰石
140	マミーボード(ミイラに被せられた木製の蓋)	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	157.5×44.5×10.0	石膏下地に着色された木

No.	作品名	制作年	寸法(cm)	材質
141	人型の棺の箱部	エジプト第3中間期(1080-664 BC)	190.0×54.6×29.4	石膏下地に着色された木
142	ハスの花の香りを嗅ぐ女性を描いたレリーフ	エジプト中王国、第11王朝(2134-1994 BC)	46.2×26.7×7.3	着色された石灰石
143	エリート層の高官ネフェルチェパウとその妻イビの鎮墓石碑	エジプト第1中間期(2155-2134 BC)	82.3×83.2×13.0	着色された石灰石
144	ラメセス2世の胸像	エジプト新王国、ラーメス時代、第19王朝(1305-1185 BC)	72.0×58.0×32.0	桃色花崗岩
145	授乳する女王あるいは女神の彫像	エジプト第3中間期、第25王朝(775-664 BC)～エジプト末期王朝、第26王朝(664-525 BC)	57.0×41.0×27.0	桃色花崗岩
146	スフィンクス	プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	38.5×22.2×72.2	着色された石灰石
147	ファラオの巨大な頭部像	プトレマイオス王朝エジプト(305-30 BC)	40.0×39.5×37.5	着色され金箔押しした石灰石

◎印刷物・会場作成物

・図録 B5判、192頁

内容:

展覧会会場／会期

ごあいさつ

はじめに(ジャン・クロード・ガンドゥール)

目次

古代エジプト美術の世界 魔術と神秘(ロバート・スティーヴン・ピアンキ)

古代エジプト地図

古代エジプト史 年代と概説

カタログ

第1章 ヒエログリフの魔術

第2章 素材の魔術

第3章 色の魔術

索引

監修・著:ロバート・スティーヴン・ピアンキ

想定・デザイン:中村香(コパンダ・バーレルセル)

企画・編集・翻訳協力:豊田菜穂子(アートプランニングレイ)、浅沼友紀

編集:清水壽明、日下部行洋(平凡社)

発行者:西田裕一

発行所:株式会社平凡社

印刷:株式会社東京印書館

発行日:2015年4月13日

・ポスター B2

・チラシ A4

・コンサートチラシ A4

・ジュニアガイド 蛇腹折り、仕上がりサイズ 18.2×12.8cm(片面7頁)

アートディレクション:永井裕明(N.G.Inc)

デザイン:本間亮(N.G.Inc)

制作:美術出版社デザインセンター

印刷:大日本印刷

・パネル

挨拶等3枚、空間構成解説1枚、章解説3枚、事項解説9枚

・会場配布用作品リスト、空間構成解説資料

空間構成:吉野弘建築設計事務所

◎主要関連記事

(長文記事は末尾に※、県内媒体の情報のみの記事は省略)

[新聞等]

・朝日新聞

2.11

「14日、館林美術館でコンサート 140年前の音色、味わって 富岡製糸場のピアノと同機種」※

・朝日ぐんま

2.26

「寄稿 今なお人々を魅了し続ける 古代エジプトの魔術と神秘」※(学芸員 松下和美)

・ぐんま経済新聞

1.7

「魔術テーマに美術展 県立館林美術館で」

1.23

「エジプト美術展によせて～愛を歌う～ 来月14日、館林美術館で」

・産経新聞

1.15

「古代エジプト美術の世界展―魔術と神秘―」〈開催中です!〉※

・上毛新聞

1.6

「国内初公開のエジプト美術 館林 宝飾品や石碑150点」※

・上毛新聞シャトル

1.15

「県立美術館で専門家トーク 神聖文字の祈り 今と通じる 古代エジプト身近に」※

1.19

「館林美術館 古代エジプト美術の世界展 ① ミイラ守るマミーボード、棺死者の幸せな来世祈願」※(学芸員 松下和美)

2.3

「館林美術館 古代エジプト美術の世界展 ② 冥界の王、オシリスの像復活や病氣治癒 表現」※(学芸員 松下和美)

2.17

「館林美術館 古代エジプト美術の世界展 ③ 牛、トキ、ヒヒ、ネコ… 動物で表した神々の像」※(学芸員 松下和美)

3.2

「館林美術館 古代エジプト美術の世界展 ④ 最古の文字「ヒエログリフ」それ自体に魔術的力」※(学芸員 松下和美)

3.12

「古代エジプトの展示品に見入る 美術館でアート講座」※

・東京新聞

1.25

「県立館林美術館で企画展 古代エジプト人の祈り 副葬品から浮かぶ宗教・死生観」※

・読売新聞

[定期刊行物]

・月刊アートコレクターズ

3月号

「古代エジプト美術の世界展 魔術と神秘」〈展覧会ガイド〉

・美術手帖

2月号

「ガンドゥール美術財団の至宝―魔術と神秘―古代エジプト美術の世界展」〈広告〉

・美術の窓

3月号

「ガンドゥール美術財団の至宝 古代エジプト美術の世界展―魔術と神秘―」〈話題の展覧会 美術館〉

・raife

1月号

「神秘的な古代エジプト美術が日本初公開」〈Event in Gunma〉

◎放送

[テレビ]

・NHK

1.21、3.15

「古代エジプト美術展紹介」〈ひるまほっと〉

・群馬テレビ

1.6

「古代エジプト美術展」〈ニュースeye8〉

・館林ケーブルテレビ

1.18-20

「館林美術館企画展「古代エジプト美術の世界展」」〈CC9ニュース〉

[ラジオ]

・FM桐生

1.26

「古代エジプト美術の世界展―魔術と神秘―」について〈ぐんまいきいき情報〉

3.10

「たてび☆キッズウォークについて」〈ぐんまいきいき情報〉

・FM群馬

「「古代エジプト美術の世界展」作品紹介」〈ユウガチャ！かわら版〉

・FM太郎

1.26

「たてび☆びじゅつ部 「古代エジプトのお守りを作ろう！」のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉

2.4、3.8

「たてび☆キッズウォークについて」〈ぐんまいきいき情報〉

◎関連事業

・ゲストトーク

1.10

「古代エジプト人の祈り:復活・再生・豊饒」

講師:田澤恵子(古代オリエント博物館研究員)

・トーク&ワークショップ

2.28

「ヒエログリフを楽しもう！」

講師:田澤恵子

・レクチャー

1.30

「古代エジプト美術とフランソワ・ポンボン」

松下和美(学芸員)

・たてび☆びじゅつ部

1.31

「古代エジプトのお守りを作ろう！」

・記念コンサート

2.14

「エジプト美術展によせて～愛をうたう～」

演奏者:勝又晃(テノール)、永井美加(ソプラノ)、近藤陽子(ピアノ)

使用ピアノ:スタインウェイSmall アップライト スタイル2 NY 製

協力:ピアノプラザ群馬

・たてび☆キッズウォーク

1.6、2.6、3.12



展示室2



展示室3



展示室4



展示室4

第1期 4月25日(土)～6月28日(日)
展示室1
「近現代の彫刻Ⅰ－彫刻のかたち、いろいろ」

第2期 7月18日(土)～8月30日(日)
展示室1
「近現代の彫刻Ⅱ－空間とともに見る彫刻」

第3期 9月19日(土)～12月6日(日)
展示室1
「近現代の彫刻Ⅲ 彫刻の大きさと印象」

第4期 1月5日(土)～3月21日(月・祝)
展示室1
「近現代の彫刻Ⅳ 彫刻に当たる光」

◎印刷物・会場作成物

「近現代の彫刻Ⅰ－彫刻のかたち、いろいろ」

・パネル1枚

・会場配布用作品リスト

「近現代の彫刻Ⅱ－空間とともに見る彫刻」

・パネル1枚

・会場配布用作品リスト

「近現代の彫刻Ⅲ 彫刻の大きさと印象」

・パネル1枚

・会場配布用作品リスト

「近現代の彫刻Ⅳ 彫刻に当たる光」

・パネル1枚

・会場配布用作品リスト

近現代の彫刻 I - 彫刻のかたち、いろいろ
平成27年4月25日(土)～6月28日(日) 展示室1

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1	フランソワ・ポンボン	シロクマ	1923 - 1933	白色大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ポンボン	ヒグマ	1918 - 1926	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7.0	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ポンボン	大黒豹	1930 - 1931	ブロンズ	25.0 × 81.0 × 14.0	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ポンボン	パン	1923 頃	ブロンズ	26.0 × 29.0 × 12.0	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ポンボン	ほろほろ鳥	1910 - 1912	ブロンズ	19.8 × 23.4 × 10.7	群馬県立館林美術館
6	フランソワ・ポンボン	雉鳩	1919	ブロンズ	24.0 × 8.7 × 9.5	群馬県立館林美術館
7	ヘンリー・ムーア	母と子	1938	ブロンズ	11.4 × 7.4 × 5.7	群馬県立館林美術館
8	ヘンリー・ムーア	羊	1960	ブロンズ	19.8 × 24.0 × 11.3	群馬県立館林美術館
9	フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4 × 38.0 × 26.6	群馬県立館林美術館
10	チェスラフ・ズベール	ターコイズ・フォレスト	1994	ブロンズ、ガラス	46.0 × 51.0 × 35.0	群馬県立館林美術館
11	イサム・ノグチ	リス	1984 - 1988	ブロンズ板	61.0 × 48.0 × 39.0	群馬県立館林美術館
12	バーバラ・ヘップワース	アポロン	1951 頃	スチール・ロッド	79.0 × 110.5 × 158.5	群馬県立館林美術館
13	土谷武	蝶 I	1993	軟鋼	147.0 × 130.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
14	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館
15	ブルーノ・ロメダ	純粋な大円	2003	ブロンズ	188.0 × 191.2 × 20.0	群馬県立館林美術館
16	保田春彦	立ち上がる幕舎	1992	鉄	206.5 × 223.0 × 122.0	群馬県立近代美術館
17	和南城孝志	Archetypus 円のイメージ	1981	ベルギー産 黒大理石	20.0 × 50.0 × 50.0	群馬県立館林美術館
18	和南城孝志	Archetypus 空間への旅 II	1983	ブロンズ	10.0 × 30.0 × 30.0	群馬県立館林美術館
19	森亮太	波	1990	黒御影石	33.0 × 51.0 × 8.0	群馬県立館林美術館



近現代の彫刻Ⅱ－空間とともに見る彫刻
平成27年7月18日(土)～8月30日(日) 展示室1

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1	フランソワ・ポンボン	ほろほろ鳥	1910 - 1912	ブロンズ	19.8 × 23.4 × 10.7	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ポンボン	牝豚	1918	ブロンズ	11.0 × 20.0 × 5.5	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ポンボン	ラクダ	1906 - 1930	ブロンズ	15.6 × 23.0 × 6.0	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ポンボン	シロクマ	1923 - 1933	白色大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ポンボン	大黒豹	1930 - 1931	ブロンズ	25.0 × 81.0 × 14.0	群馬県立館林美術館
6	チャーナ・オルロフ	鳥	1924	ブロンズ	100.5 × 32.2 × 30.0	群馬県立館林美術館
7	チャーナ・オルロフ	魚ノ噴水	1929	ブロンズ	40.7 × 40.5 × 13.3	群馬県立館林美術館
8	マックス・エルンスト	外壁のマスク	1948	ブロンズ	23.8 × 38.6 × 19.2	群馬県立館林美術館
9	フェルナン・レジェ	花々の中の鳥	1953	ブロンズ	43.0 × 35.0 × 5.0	群馬県立館林美術館
10	アーブラハム＝ダー フィット・クリスティアン	清らかな人 XI	1982	ブロンズ	166.2 × 57.8 × 28.0	群馬県立館林美術館
11	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
12	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館
13	土谷武	無題	1972	軟鋼	105.0 × 75.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
14	保田春彦	立ち上がる幕舎	1992	鉄	206.5 × 223.0 × 122.0	群馬県立近代美術館
15	岡本健彦	風神・雷神	1993	油彩、鉛、ス テンレス チール、カン ヴァス、合板	183.0 × 200.0 × 398.0	群馬県立館林美術館 寄託



近現代の彫刻Ⅲ 彫刻の大きさと印象
平成27年9月19日(土)～12月6日(日) 展示室1

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1	フランソワ・ポンボン	シロクマ	1923- 1933	白色大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ポンボン	風見鶏	1908- 1932	銅	47.0 × 54.4 × 6.0	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ポンボン	ヒグマ	1918- 1926	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7.0	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ポンボン	フクロウ	1923	ブロンズ	17.7 × 7.9 × 8.2	群馬県立館林美術館
5	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
6	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館
7	フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4 × 38.0 × 26.6	群馬県立館林美術館
8	ヘンリー・ムーア	馬の頭部	1982	ブロンズ	13.6 × 12.0 × 6.5	群馬県立館林美術館
9	イサム・ノグチ	リス	1984 - 1988	ブロンズ板	61.0 × 48.0 × 39.0	群馬県立館林美術館
10	ブルーノ・ロメダ	純粹な大円	2003	ブロンズ	188.0 × 191.2 × 20.0	群馬県立館林美術館
10	土谷武	蝶 I	1993	軟鋼	147.0 × 130.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
11	高田博厚	海	1962	ブロンズ	77.0 × 34.0 × 29.0	群馬県立館林美術館
11	佐藤忠良	男の顔	1965	ブロンズ	32.5 × 20.0 × 23.0	群馬県立館林美術館
12	鶴岡政男	ロレンスの顔	1951	ブロンズ	6.5 × 4.4 × 5.3	群馬県立館林美術館
12	鶴岡政男	男の顔	1951	ブロンズ	9.2 × 4.5 × 6.5	群馬県立館林美術館
13	保田春彦	立ち上がる幕舎	1992	鉄	206.5 × 223.0 × 122.0	群馬県立近代美術館
13	森亮太	波	1990	黒御影石	33.0 × 51.0 × 8.0	群馬県立館林美術館
14	森亮太	二つの突起	1982	黒御影石	27.0 × 55.0 × 17.0	群馬県立館林美術館
14	森亮太	座標	1988	黒御影石	27.5 × 27.0 × 14.0	群馬県立館林美術館



近現代の彫刻Ⅳ 彫刻に当たる光

平成28年1月5日(火)～3月21日(月・祝) 展示室 1

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1	フランソワ・ポンボン	コゼット	1888	ブロンズ	41.0 × 18.0 × 13.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ポンボン	風見鶏	1908 - 1932	銅	47.0 × 54.4 × 6.0	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ポンボン	ヒグマ	1918 - 1926	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7.0	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ポンボン	牝豚	1918	ブロンズ	11.0 × 20.0 × 5.5	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ポンボン	バン	1923 頃	ブロンズ	26.0 × 29.0 × 12.0	群馬県立館林美術館
6	フランソワ・ポンボン	シロクマ	1923 - 1933	白色大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
7	フランソワ・ポンボン	大黒豹	1930 - 1931	ブロンズ	25.0 × 81.0 × 14.0	群馬県立館林美術館
8	チャーナ・オルロフ	鳥	1924	ブロンズ	100.5 × 32.2 × 30.0	群馬県立館林美術館
9	チャーナ・オルロフ	魚ノ噴水	1929	ブロンズ	40.7 × 40.5 × 13.3	群馬県立館林美術館
10	アーブラハム＝ダー	清らかな人 XI	1982	ブロンズ	166.2 × 57.8 × 28.0	群馬県立館林美術館
11	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
12	イサム・ノグチ	リス	1984 - 1988	ブロンズ板	61.0 × 48.0 × 39.0	群馬県立館林美術館
13	フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4 × 38.0 × 26.6	群馬県立館林美術館
14	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館
15	土谷武	無題	1972	軟鋼	105.0 × 75.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
16	和南城孝志	Archetypus空間への旅 I	1979	ブロンズ	12.0 × 35.0 × 35.0	群馬県立館林美術館
17	和南城孝志	Archetypus円のイメージ	1981	ベルギー産 大理石	20.0 × 50.0 × 50.0	群馬県立館林美術館
18	和南城孝志	Archetypus空間への旅 II	1983	ブロンズ	10.0 × 30.0 × 30.0	群馬県立館林美術館
19	森亮太	風の扉	1987	黒御影石	101.0 × 34.5 × 31.0	群馬県立館林美術館
20	森亮太	波	1990	黒御影石	33.0 × 51.0 × 8.0	群馬県立館林美術館



D 彫刻家のアトリエ(別館)展示記録

彫刻家のアトリエの展示ケース内にて資料(一部複製)を展示。展示ごとに配布用解説を作成した。

第1期

「フランソワ・ポンポン関連資料より―試作と洗練」

4月25日(土)―6月28日(日)

展示資料:写真(複製)23点、石膏4点

ポンポンのブロンズ作品にみられる、洗練された美しいシルエットとなめらかなボリューム表現は、さまざまなエスキース(試作)と動きのヴァリエーションを経て生まれている。試作に位置づけられる石膏作品の多くには、完成作品としてのブロンズ像にはみられない激しい動きや、ポンポンの指先の動きまでもが表現されている。そこには、作家の興味関心を直接に伝えるある種のパワーが感じられる。

第2期

「フランソワ・ポンポン関連資料より―鶴をめぐって」

7月18日(土)―8月30日(日)

展示資料:写真(複製)6点、ブロンズ1点

パリの動物園で飼育されている鶴の絵はがきや、鶴の作品写真によって、ポンポンが制作した多くの鳥の中でもひととき大きく、華やかな印象を与える鶴のヴァリエーションを紹介。アトリエ内には、高さ1mを超える《休んでいる冠鶴》を展示した。

第3期

「フランソワ・ポンポン関連資料より―ポンポンとノルマンディー」

9月19日(土)―12月6日(日)

展示資料:写真(複製)21点

パリを拠点としたポンポンは、別荘のあるノルマンディーの田舎で夏を過ごすことを習慣とし、農場で観察した鳥や家畜がポンポンの制作に大きな影響を与えた。ポンポンが集めていたスクラップの中には、ノルマンディー種の牛、馬、豚の絵はがきや農業新聞があり、制作の参考に保管したと思われる。そのほか、この地に残るポンポン作のモニュメント、知人から送られた絵はがきなどを紹介した。

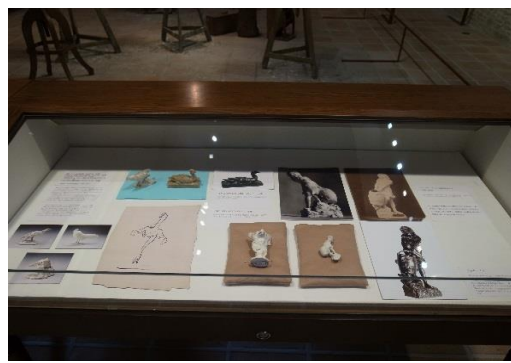
第4期

「フランソワ・ポンポン関連資料より―1931年パリ植民地博覧会」

1月5日(火)―3月21日(月・祝)

展示資料:手帳抜粋ページ(複製)2点、写真(複製)13点

パリ植民地博覧会は、ポンポンの晩年、1931年に開かれ、ポンポンは《ペリカン》《カバ》を出品した。出品を依頼する手帳の記述や博覧会の絵はがきを紹介するほか、会場内に設置された動物園で観察することにより生み出された《ライオン「メネリク」》にまつわる写真なども展示した。



E 入館者数一覧表

企画展示

	有料観覧者							無料観覧者					観覧者 合計	入館者 合計
	個人			団体			有料 合計	小中 生	学校 団体	身体障 害者等	その他	無料 合計		
	一般	大高生	小計	一般	大高生	小計								
ダイアローグー対話するアート 4/1-4/5 5日	228	41	269	0	0	0	269	31	0	11	387	429	698	913
山名文夫とアール・デ ー資生堂スタイルの 確立者 4/25－6/28 56日	3,390	154	3,544	102	217	319	3,863	210	221	214	3,814	4,459	8,322	10,930
リサ・ラーソン展 7/18－8/30 39日	12,742	482	13,224	0	50	50	13,274	2,985	113	337	9,203	12,638	25,912	28,759
舟越桂 私の中的ス フィンクス 9/19-12/6 68日	7,734	307	8,041	40	0	40	8,081	360	306	325	6,751	7,742	15,823	19,266
ガンドゥール美術財団 の至宝 古代エジプト 美術の世界観－魔術 と神秘－ 1/5-3/21 67日	12,467	393	12,860	20	0	20	12,880	1,087	426	640	6,639	8,792	21,672	25,471
企画展示 計 235日	36,561	1,377	37,938	162	267	429	38,367	4,673	1,066	1,527	26,794	34,060	72,427	85,339

入館者数は、観覧者数に施設利用者数、教育普及事業参加者数を加えた総数。
平成27年度の総入館者数は、85,339人である。

A 講演会・アーティストトーク

1. 講演会

開催日	名称	講師	会場	参加者数
5.31	記念講演会「デザイナー山名文夫の誕生」	西村美香(明星大学教授)	講堂	60
6.14	「私の仕事-資生堂パーラーや『花椿』を中心に-」	仲條正義(グラフィックデザイナー)	講堂	106
9.20	舟越桂 記念講演会	舟越桂(彫刻家)	講堂	130
9.20	舟越桂 記念講演会生中継	舟越桂(彫刻家)	研修室	43
9.20	舟越桂 記念講演会後サイン会	舟越桂(彫刻家)	講堂	60

2. アーティストトーク・ゲストトーク

開催日	名称	講師	会場	参加者数
9.19	舟越桂 アーティストトーク	舟越桂(彫刻家)	展示室	250
1.10	ゲストトーク「古代エジプト人の祈り:復活・再生・豊饒」	田澤恵子(古代オリエント博物館研究員)	展示室	160



記念講演会「デザイナー山名文夫の誕生」



「私の仕事-資生堂パーラーや『花椿』を中心に-」



舟越桂 記念講演会



舟越桂 記念講演会後サイン会



舟越桂 アーティストトーク



ゲストトーク「古代エジプト人の祈り:復活・再生・豊饒」

B 作品解説会・レクチャー・キッズウォーク・ポンポン・ツアー

1. 学芸員による作品解説会

開催日	展覧会名	解説者	会場	参加者数
5.12	山名文夫とアール・デコ	野澤広紀	展示室	11
5.20	山名文夫とアール・デコ	野澤広紀	展示室	10
6.12	山名文夫とアール・デコ	野澤広紀	展示室	7
6.21	山名文夫とアール・デコ	野澤広紀	展示室	24
7.28	リサ・ラーソン展	松下和美	展示室	22
8.2	リサ・ラーソン展	松下和美	展示室	40
8.29	リサ・ラーソン展	松下和美	展示室	47
9.23	舟越桂展	神尾玲子	展示室	19
10.10	舟越桂展	神尾玲子	展示室	23
11.1	舟越桂展	神尾玲子	展示室	36
11.12	舟越桂展	神尾玲子	展示室	14

2. レクチャー

開催日	名称	講師	会場	参加者数
1.30	レクチャー「古代エジプト美術とフランソワ・ポンポン」	松下和美	講堂	26

3. たてび☆キッズウォーク

開催日	担当者	会場	参加者数
5.2	齊藤由紀子・羽鳥あゆみ	展示室	16
6.13	齊藤由紀子・羽鳥あゆみ	展示室	7
7.25	齊藤由紀子・羽鳥あゆみ	展示室	47
8.8	齊藤由紀子・羽鳥あゆみ	展示室	38
9.23	齊藤由紀子・羽鳥あゆみ	展示室	18
10.17	齊藤由紀子・羽鳥あゆみ	展示室	2
11.14	齊藤由紀子・羽鳥あゆみ	展示室	2
12.5	齊藤由紀子・羽鳥あゆみ	展示室	12
1.16	齊藤由紀子・羽鳥あゆみ	展示室	18
2.6	齊藤由紀子・羽鳥あゆみ	展示室	23
3.12	齊藤由紀子・羽鳥あゆみ	展示室	15

4. ポンポン・ツアー

開催日	解説者	会場	参加者数
6.7	神尾玲子	彫刻家のアトリエ	19
8.23	神尾玲子	彫刻家のアトリエ	63
11.8	松下和美	彫刻家のアトリエ	22
2.7	松下和美	彫刻家のアトリエ	50



学芸員による作品解説会



レクチャー「古代エジプト美術とフランソワ・ボンボン」



たてび☆キッズウォーク



ボンボン・ツアー

C ワークショップ

開催日	名称	講師	会場	参加者数
5.16	トーク&ミニワークショップ「パフューマーが語る“香りの世界”」	城市 篤(パフューマー(調香師))	ワークショップ室	30
8.22	群馬県立女子大学奥西ゼミワークショップ「アニマルこぼしを作ろう！」	群馬県立女子大学奥西ゼミ	研修室	100
2.28	トーク&ワークショップ「ヒエログリフを楽しもう！」	田澤恵子(古代オリエント博物館研究員)	研修室	27

1. トーク&ミニワークショップ「パフューマーが語る“香りの世界”」

春の企画展示、「山名文夫とアール・デコ資生堂スタイルの確立者」の関連事業として、資生堂リサーチセンターの香料開発グループのパフューマー(調香師)である城市篤氏を招き、トーク&ミニワークショップを開催した。内容は、パフューマーという仕事について、香水の歴史や作り方、自分に合った香りを選ぶときのコツ等をお話いただきながら、実際に資生堂で販売されている数種類の香水の香りを楽しんだり、その香水を使って匂い袋を作成したりした。参加者は、香りにまつわる様々な話に感心しながら、それぞれの匂い袋の制作を楽しんでいた。

2. 群馬県立女子大学奥西ゼミワークショップ「アニマルこぼしを作ろう！」

本事業は、夏休み期間中の児童・生徒を主な対象とした県立女子大学奥西ゼミと連携して行うワークショップであり、今回は、一昨年度、昨年度に引き続き3回目の開催となった。企画展示「リサ・ラーソン展～北欧スウェーデンより、ネコや鳥や少女の陶芸～」のテーマに合わせて、自分の好きな動物をモチーフとした起き上がりこぼしを制作した。材料は、ガチャガチャで使用されている丸いカプセルに色和紙などを貼り、好きな動物の顔や耳などを色紙やカラーペンで付け加えて完成させる。参加者は、お手本を参考に学生たちからアドバイスを受けながら、思い思いのアニマルこぼしの制作に没頭していた。

3. トーク&ワークショップ「ヒエログリフを楽しもう！」

冬の企画展示、「古代エジプト美術の世界展－魔術と神秘－」の関連事業として、古代オリエント博物館研究員である田澤恵子氏を招き、トーク&ワークショップを開催した。内容は、古代エジプトのヒエログリフの成り立ちや意味などについてのお話を聞いた後、カルトゥーシュ紙にヒエログリフで自分の名前や日付などを書くことを体験した。参加者は、古代文字に親しみ、古代エジプトで最高の職業とされた書記の気分を味わいながら、真剣な面持ちで丁寧に文字を書き写していた。



トーク&ミニワークショップ「パフューマーが語る”香りの世界”」



群馬県立女子大学奥西ゼミワークショップ「アニマルこぼしを作ろう！」



トーク&ワークショップ「ヒエログリフを楽しもう！」

D 創作体験コーナー みんなのアトリエ「多版本版画摺り体験」

みんなのアトリエは、夏季企画展示会期中の事業で、参加者に簡単な創作体験を提供している。平成21年度より、同会期中に「館林邑楽地区小学生木版画展」を開催していることから、テーマの関連を図り、多版本版画摺り体験を内容としている。同一のテーマで開催してきたことから、来館者の周知が広がっている。今回は講師に、木版画家の鈴木吐志哉氏を招き、同氏が製作した版により、摺り方の基本や色の重なり方の多様性や美しさを教えていただいた。7月23日から8月27日の間の各木曜日に全6回開催し、278人が参加した。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
7.23	多版木版画摺り体験	鈴木吐志哉	ワークショップ室	30
7.30				41
8.6				55
8.13				58
8.20				42
8.27				52



みんなのアトリエ「多版木版画摺り体験」



みんなのアトリエ「多版木版画摺り体験」

E たてび☆びじゅつ部

1. たてび☆びじゅつ部

開催日	名称	会場	参加者数
5.23	「お洒落なカード作り」①	ワークショップ室	42
6.20	「お洒落なカード作り」②	ワークショップ室	50
8.1	「粘土で作るリサ・ラーソン風動物レリーフ」	研修室	104
10.3	「みがいてつるつる～木を感じよう」①	ワークショップ室	37
11.21	「みがいてつるつる～木を感じよう」②	ワークショップ室	99
1.17	アンコール企画「粘土でつくるリサ・ラーソン風動物レリーフ」	研修室	82
1.31	「古代エジプトのお守りを作ろう！」	ワークショップ室	136



たてび☆びじゅつ部「お洒落なカード作り」



たてび☆びじゅつ部「粘土で作るリサ・ラーソン風動物レリーフ」



たてび☆びじゅつ部「みがいってつるつる～木を感じよう」



たてび☆びじゅつ部「古代エジプトのお守りを作ろう！」

F たてび土曜レクチャー

1. たてび土曜レクチャー「美術の楽しみ方Ⅱ」

開催日	名称	講師	会場	参加者数
2.6	デザインを巡る旅のすすめー北欧を中心に	野澤広紀(当館学芸員)	講堂	37
2.13	ゆるゆる目線でいく！大正・昭和のモダンアート探検	伊藤佳之(福沢一郎記念館(世田谷)学芸員)	講堂	25
2.20	焼き物のいろいろ	佐々木正直(当館館長)	講堂	42



たてび土曜レクチャー「ゆるゆる目線でいく！大正・昭和のモダンアート探検」



たてび土曜レクチャー「焼き物のいろいろ」

G コンサート・映画上映会

1. コンサート

開催日	名称	講師	会場	参加者数
2.14	記念コンサート「エジプト美術展によせて～愛を歌う～」	勝又晃(テノール) 永井美加(ソプラノ) 近藤陽子(ピアノ)	エントランスホール	328

2. 映画上映会

開催日	名称	会場	参加者数
10.18	≡(ニア・イコール)舟越桂	講堂	63



記念コンサート「エジプト美術展によせて～愛を歌う～」



≡(ニア・イコール)舟越桂

H 他団体への協力

1. 館林教育委員会・県立館林美術館共催講座

開催日	名称	講師	会場	参加者数
11.28	彫刻を楽しむための「彫刻講座」	黒川弘毅(武蔵野美術大学彫刻学科教授) 神尾玲子(当館学芸員)	講堂・展示室・彫刻家のアトリエ	29

2. 花と緑の館林づくり協議会・県立館林美術館連携事業

開催日	名称	講師	会場	参加者数
3.19	あんだんて美術館×群馬県立館林美術館 「みんなで花と緑のまちを描こう！」	柳澤顕(美術作家)	ワークショップ室	28

3. アトリエMADO主催 対話型鑑賞会

開催日	名称	ファシリテーター	会場	参加者数
11.28	舟越桂展 対話型鑑賞会	三木素子(アトリエMADO) 他4名	ワークショップ室・展示室	18



彫刻を楽しむための「彫刻講座」



舟越桂展 対話型鑑賞会



あんだんて美術館×群馬県立館林美術館
「みんなで花と緑のまちを描こう！」

J 地域に開かれた美術館づくり

館林美術館の施設と機能を活かして、地区小学生の健全育成、芸術創作活動の振興、美術鑑賞力の向上を図るとともに、地域に開かれた美術館づくりを推進するために、館林が生んだ木版画家である藤牧義夫にちなみ、館林市及び邑楽郡5町の各市町及び各市町教育委員会の協力を得て、「第7回 日本を代表する木版画家「藤牧義夫」記念館林邑楽地区小学生木版画展」を開催した。会場は講堂を使用し、参加小学校全27校を一週間6会期に分けて展示した。31日間の全会期中に、合計4,092人が観覧した。

会期	開催期間	参加校	入室者数
第1期	7.18-7.23	館林市立第六小学校、館林市立第七小学校、館林市立第八小学校、館林市立第九小学校	581
第2期	7.25-7.30	館林市立第十小学校、館林市立美園小学校、板倉町立東小学校、板倉町立西小学校、板倉町立南小学校、板倉町立北小学校	529
第3期	8.1-8.6	明和町立明和東小学校、明和町立明和西小学校、大泉町立南小学校、大泉町立北小学校	592
第4期	8.8-8.13	大泉町立西小学校、大泉町立東小学校、千代田町立西小学校、千代田町立東小学校	748
第5期	8.15-8.20	邑楽町立中野小学校、邑楽町立高島小学校、邑楽町立長柄小学校、邑楽町立中野東小学校	648
第6期	8.22-8.27	館林市立第一小学校、館林市立第二小学校、館林市立第三小学校、館林市立第四小学校、館林市立第五小学校	683

**第7回日本を代表する木版画家「藤牧義夫」記念
館林邑楽地区
小学生木版画展**

館林出身の創作版画家藤牧義夫にちなみ、館林邑楽地区の小学生による木版画展を開催します。この展覧会は、地区内全27校の5年生児童全員が参加するものです。鑑賞の場としての美術館に足を運んでもいい、藤牧義夫の作品や木版画についての見方や感じ方を深めてもらいます。

2015年7月18日[土]～8月27日[木]各週土曜日から木曜日

○開演時間：午前9時30分～午後5時
○休演日：毎月曜日(7月20日、8月10日、8月14日、全曜日は7月21日[土])
(全曜日の休演日は本展のみ、企画展「リサ・トーン展」を含む美術館全体は開演)
○同時期の企画展「リサ・トーン展」～北沢スウェーデンより、モコヤ島や少女の陶芸～(7/18[土]～8/30[木])

群馬県立館林美術館 講堂[入場無料]

〒374-0004 群馬県館林市日野町2001 電話(0276-72-4168 FAX(0276-72-4238) <http://www.gma.go.jp/gmaib/>

第1期 7月18日-23日	第2期 7月25日-30日	第3期 8月1日-6日	第4期 8月8日-13日	第5期 8月15日-20日	第6期 8月22日-27日
館林市立第六小学校 館林市立第七小学校 館林市立第八小学校 館林市立第九小学校	館林市立第十小学校 館林市立美園小学校 板倉町立東小学校 板倉町立西小学校 板倉町立南小学校 板倉町立北小学校	明和町立明和東小学校 明和町立明和西小学校 大泉町立南小学校 大泉町立北小学校	大泉町立西小学校 大泉町立東小学校 千代田町立西小学校 千代田町立東小学校	邑楽町立中野小学校 邑楽町立高島小学校 邑楽町立長柄小学校 邑楽町立中野東小学校	館林市立第一小学校 館林市立第二小学校 館林市立第三小学校 館林市立第四小学校 館林市立第五小学校

○主催 群馬県立館林美術館
○協賛 群馬県 館林市 明和町 大泉町 千代田町 邑楽町
○協賛 群馬県教育委員会 群馬県教育委員会 明和町教育委員会 明和町教育委員会 大泉町教育委員会 大泉町教育委員会 千代田町教育委員会 千代田町教育委員会 邑楽町教育委員会 邑楽町教育委員会

関連イベント「第1回展覧会」(8月1日～8月6日)は、館林市立第一小学校で開催されます。
①入場料：大人1,000円(小学生500円) ②入場料：大人1,000円(小学生500円)
③入場料：大人1,000円(小学生500円) ④入場料：大人1,000円(小学生500円)
⑤入場料：大人1,000円(小学生500円) ⑥入場料：大人1,000円(小学生500円)
⑦入場料：大人1,000円(小学生500円) ⑧入場料：大人1,000円(小学生500円)
⑨入場料：大人1,000円(小学生500円) ⑩入場料：大人1,000円(小学生500円)
⑪入場料：大人1,000円(小学生500円) ⑫入場料：大人1,000円(小学生500円)
⑬入場料：大人1,000円(小学生500円) ⑭入場料：大人1,000円(小学生500円)
⑮入場料：大人1,000円(小学生500円) ⑯入場料：大人1,000円(小学生500円)
⑰入場料：大人1,000円(小学生500円) ⑱入場料：大人1,000円(小学生500円)
⑲入場料：大人1,000円(小学生500円) ⑳入場料：大人1,000円(小学生500円)
㉑入場料：大人1,000円(小学生500円) ㉒入場料：大人1,000円(小学生500円)
㉓入場料：大人1,000円(小学生500円) ㉔入場料：大人1,000円(小学生500円)
㉕入場料：大人1,000円(小学生500円) ㉖入場料：大人1,000円(小学生500円)
㉗入場料：大人1,000円(小学生500円) ㉘入場料：大人1,000円(小学生500円)
㉙入場料：大人1,000円(小学生500円) ㉚入場料：大人1,000円(小学生500円)
㉛入場料：大人1,000円(小学生500円) ㉜入場料：大人1,000円(小学生500円)
㉝入場料：大人1,000円(小学生500円) ㉞入場料：大人1,000円(小学生500円)
㉟入場料：大人1,000円(小学生500円) ㊱入場料：大人1,000円(小学生500円)
㊲入場料：大人1,000円(小学生500円) ㊳入場料：大人1,000円(小学生500円)
㊴入場料：大人1,000円(小学生500円) ㊵入場料：大人1,000円(小学生500円)
㊶入場料：大人1,000円(小学生500円) ㊷入場料：大人1,000円(小学生500円)
㊸入場料：大人1,000円(小学生500円) ㊹入場料：大人1,000円(小学生500円)
㊺入場料：大人1,000円(小学生500円) ㊻入場料：大人1,000円(小学生500円)
㊼入場料：大人1,000円(小学生500円) ㊽入場料：大人1,000円(小学生500円)
㊾入場料：大人1,000円(小学生500円) ㊿入場料：大人1,000円(小学生500円)

ポスター



展示会場

◎主要関連記事

(長文記事は末尾に＊、県内媒体の情報のみの記事は省略)

教育普及

〔新聞等〕

・朝日ぐんま

8.28

「県内の中学生らがバスで美術館巡り」

・上毛新聞

8.20

「アートに触れよう 高崎の中学生 バスで美術館ツアー」＊

8.22

「館林美術館で「夏休み宿題相談室」ポスターよく描けた 西邑楽高生が指導」＊

・上毛新聞シャトル

6.1

「7日に「ポンポン・ツアー」試作から造形の秘密」〈館林美術館便り〉＊(学芸員 神尾玲子)

8.18

「館林美術館 多版木版画体験に夢中 赤、青、黄で無限の色が」＊

その他

〔新聞等〕

・朝日新聞

5.27 夕刊

「群馬県立館林美術館」〈美博ピックアップ〉＊

・上毛新聞

10.31

「ちょっと気になる街角アート 鐘の上の野兎」＊

〔定期刊行物〕

・ACe 建設業界

6月号

「第43回受賞作品(2002年) 群馬県立館林美術館 前編」(BCS)＊

7月号

「第43回受賞作品(2002年) 群馬県立館林美術館 後編」(BCS)＊

・ふりぺっこ 両毛版

11月号

「五感で楽しむ アートスポット 群馬県立館林美術館」

・関東の博物館

第40号

「コレクションの活用とその展開～フランソワ・ポンボンの例」＊(学芸員 松下和美)

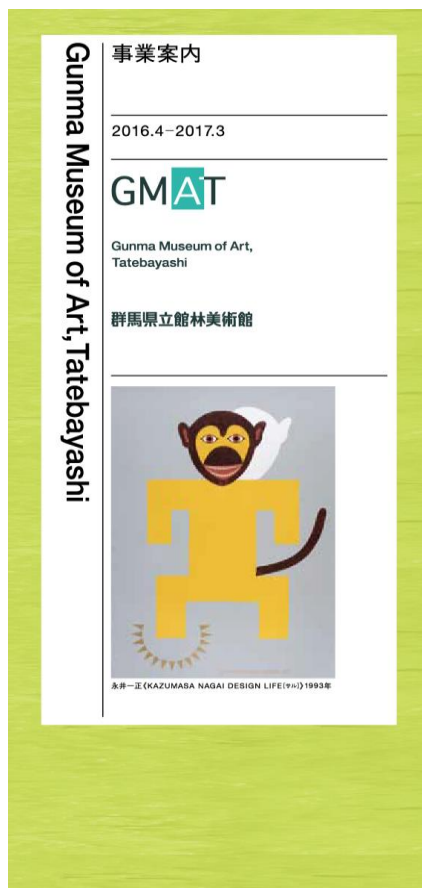
「群馬県立館林美術館の企画展と広報活動」＊(学芸員 野澤広紀)

〔単行書〕

・ぐんま建築ガイド

「群馬県立館林美術館」

◎群馬県立館林美術館平成28年度事業案内
B4判変形4つ折り
平成28年3月発行
発行部数 25,000部



◎たてび☆スクールプログラム
A3判2つ折り
平成28年3月発行
発行部数 5,000部



A 美術作品

1. 作品収蔵状況 平成28年3月31日現在

作家区分	県内作家		国内作家			外国作家			総計	
収蔵方法	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	
部門										
日本画	4	9	13	1	1	2	0	0	0	15
油彩その他	7	0	7	18	8	26	6	1	7	40
水彩・素描	10	6	16	3	0	3	8	0	8	27
版画	22	0	22	289	252	541	52	0	52	615
写真・映像	0	0	0	60	8	68	12	0	12	80
彫刻	5	8	13	4	5	9	125	0	125	147
染織・工芸	5	3	8	3	0	3	4	1	5	16
計	53	26	79	378	274	652	207	2	209	940

2. 平成27年度 収蔵作品

平成27年度においては、油彩その他1点(寄贈 1点)、写真・映像1点(寄贈1点)、染織・工芸1点(寄贈1点)の計3点を新たに収蔵した。以下、区分ごとに50音順に配列している。

各作品データは、以下の順に記す。

- ・作者名(生没年)
- ・作品名
- ・制作年(日本人作家の場合は元号も付す)
- ・技法・材質(・形状)
- ・寸法(平面作品は縦×横、立体作品は高さ×幅×奥行、単位はcm)
- ・サイン、年記、その他の記載事項
- ・初発表展覧会および受賞記録
- ・受入種別
- ・受入番号

< 油彩その他 >

大岩オスカー (19658～)
 Oscar OIWA
 パン・デ・アスーカル
 1995年
 アクリル・合板
 120.0×180.0
 2枚のパネルのそれぞれ左下に
 サインと年記:「OSCAR SATIO
 OIWA 1995」
 「日本ブラジル修好100周年記
 念、ブラジル現代日系作家展」
 (太田市東毛学習文化センター、
 群馬他、1995-96年)
 作者寄贈
 938



<写真・映像>

小瀬村真美 (1975～)
KOSEMURA Mami
四季草花図
2004-06(平成16-18)年
映像(ed.4/5)
3点組／9分、23分、5分
証明書にサイン
「eco&ego」(柴崎邸、川口、埼玉、2004年)
群馬県立館林美術館友の会寄贈
939



<染織・工芸>

リサ・ラーソン (1931～)
Lisa LARSON
2つの横顔
1986年
陶器
19.5×21.5×4.5
作品底面にサインと年記:「Lisa L, -86」
作者寄贈
940



3. 平成27年度 寄託作品

作者名	作品名 (* 新規寄託)	制作年	技法・材質	寸法 (高さ × 幅 × 奥行cm)
掛井五郎	人間の問題研究Ⅲ四つの足	1985	ブロンズ	100.0 × 96.0 × 30.0
岡本健彦	風神・雷神	1993	油彩、鉛、ステンレスチール、カンヴァス、合板	183.0 × 200.0 × 398.0
日野之彦	見つめ合い	2011	油彩・カンヴァス	91.0 × 91.0
日野之彦	二人は走る	2010	油彩・カンヴァス	259.1 × 193.9
アルブレヒト・デューラー	書斎の聖ヒエロニムス	1514	エングレーヴィング・紙	24.4 × 18.8
西村盛雄	甘露の雨 マナ9	2002	木	37.0 × 220.0 × 220.0
勅使河原蒼風	わかれ	1963	鉄	120.0 × 33.0 × 32.5
勅使河原蒼風	群れ	1953	鉄	103.0 × 184.0 × 57.0
勅使河原蒼風	ビーナス	1957	木	68.0 × 65.0 × 54.0
勅使河原蒼風	クビ	1962	木	129.5 × 62.5 × 30.0
勅使河原蒼風	クサナギ	1967	銅	252.5 × 64.5 × 50.0
勅使河原蒼風	題不詳	不詳	銅	44.0 × 53.0 × 48.0

作者名	作品名 (* 新規寄託)	制作年	技法・材質	寸法 (高さ × 幅 × 奥行cm)
勅使河原蒼風	ミコ	1967	銅	96.0 × 49.0 × 25.0
大森暁生	Swan in the frame (Type-A)	2006	檜、漆、彩色、ステンレス、アガチス、銅	70.0 × 130.0 × 67.0
長重之	視床〜青	1995	木、布、アクリル絵具	100.0 × 162.0 × 7.0
長重之	視床	2010	水彩、コラージュ・紙	92.5 × 116.0
山口啓介	花の心臓 / 炭素原子モデル	2003	顔料、樹脂、自家製樹脂、アクリル・カンヴァス	270.0 × 181.0
中平四郎	讀賣	1924	木彫	60.0 × 34.0 × 25.0
藤牧義夫	関連資料 全21点			
清宮質文	葦	1958	木版・紙	21.7 × 18.8
清宮質文	むかしのはなし	1958	木版・紙	8.3 × 16.3
清宮質文	古い日	1960	木版・紙	17.2 × 14.2
清宮質文	幼きもの	1963	木版・紙	24.1 × 21.3
清宮質文	九月の海辺	1970	木版・紙	13.3 × 23.3
清宮質文	北辺の小屋	1971	ガラス絵	16.6 × 22.0
清宮質文	暗い夕日 (暗い夕日1)	1972	木版・紙	21.0 × 19.2
清宮質文	冬 (暗い夕日2)	1972	木版・紙	23.0 × 21.8
清宮質文	トンネルの出口 (暗い夕日3)	1972	木版・紙	23.4 × 20.1
清宮質文	虜囚の窓 (暗い夕日4)	1972	木版・紙	24.3 × 20.0
清宮質文	夕方の静物 (暗い夕日5)	1972	木版・紙	23.0 × 21.9
清宮質文	窓のカンテラ (暗い夕日6)	1972	木版・紙	24.2 × 15.0
清宮質文	入日 (暗い夕日7)	1972	木版・紙	16.2 × 25.8
清宮質文	町外れ (暗い夕日8)	1972	木版・紙	16.6 × 22.0
清宮質文	夕日の静物 (暗い夕日9)	1972	木版・紙	13.7 × 22.2
清宮質文	壇の中の魚 (暗い夕日10)	1972	木版・紙	20.0 × 22.6
清宮質文	深夜の蠟燭	1974	木版・紙	18.0 × 15.2
清宮質文	星占い 〜去りゆく凶星〜	1975	木版・紙	15.2 × 18.0
清宮質文	秋の夕日	1976	木版・紙	16.2 × 14.1
清宮質文	作品	1981	水彩・紙	10.0 × 16.0
清宮質文	黒夜の鳥	1982	木版・紙	12.5 × 14.0
清宮質文	われむかしの日にしえの年をおもえり	1982	木版・紙	15.2 × 13.0
清宮質文	夢の中へ	1983	木版・紙	15.5 × 6.8
清宮質文	失題 (モノタイプ)	1983	モノタイプ・紙	20.8 × 16.2
清宮質文	失題 (モノタイプ)	1983	モノタイプ・紙	19.3 × 11.2
清宮質文	失題 (モノタイプ)	1983	モノタイプ・紙	21.6 × 16.2
清宮質文	夕日のとり	1985	木版・紙	7.8 × 16.0
清宮質文	なんじの革囊にわが涙を	1985	木版・紙	17.5 × 16.9
清宮質文	晩夏	1985	木版・紙	6.8 × 7.0
清宮質文	秋の午後	1985	木版・紙	16.8 × 27.7
清宮質文	冬の夕 (絶筆)	1991	ガラス絵	12.2 × 16.2
清宮質文	未完 (絶筆)	1991	ガラス絵	13.0 × 16.6
清宮質文	失題	1960年代	水彩・紙	14.8 × 11.8
清宮質文	歳月	1970	木版画	18.9 × 25.9
清宮質文	眠り	1966	木版・紙	19.8 × 27.8
清宮質文	夏の終わり	1967	木版・紙	10.2 × 22.2
清宮質文	月と運河 (試摺り)	1988	木版・紙	16.5 × 16.4
清宮質文	無題 (未完)	1991	木版・紙	23.0 × 30.6
駒井哲郎・小磯良平・清宮質文・浜田知明	駒井哲郎のオマージュ	1982	エッチング他	43.6 × 34.6
三輪途道	YUUKO	1996-2004	檜、漆、膠、白土、顔料	153.0 × 48.0 × 25.0
三輪途道	野辺の王様	1998	檜、漆、膠、白土、顔料	125.0 × 32.0 × 40.0
三輪途道	温度-H.MIWA-	1999	檜、漆、膠、白土、顔料	99.0 × 57.0 × 37.0
三輪途道	縄文からの道	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	12.0 × 25.0 × 16.0
三輪途道	TOKYO-2000.1.12.Age60-	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	102.0 × 50.0 × 28.0
三輪途道	猿を待ってた日	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	23.0 × 16.5 × 23.0
三輪途道	下仁田ーおじい	2003	檜、漆、膠、顔料	79.0 × 59.0 × 64.0
三輪途道	下仁田ーおばあ	2003	檜、漆、膠、顔料	83.0 × 50.0 × 56.0
三輪途道	おじいの宝Ⅱ (金歯の位置違い)	2003	檜、漆、金箔	3.0 × 7.5 × 5.0
三輪途道	猫の抜け道	2005	檜、漆、膠、顔料	25.0 × 68.0 × 14.0

作者名	作品名 (* 新規寄託)	制作年	技法・材質	寸法 (高さ × 幅 × 奥行cm)		
三輪途道	発電所のなめくじ	2005	檜、漆、膠、白土、顔料 (5点組)	4.0	×	6.0
				5.0	×	8.0
				6.0	×	9.0
				13.0	×	10.0
三輪途道	父子像	2007	檜、漆、膠、顔料	13.0	×	10.0
				175.0	×	42.0
				90.0	×	58.0
				159.0	×	99.0
三輪途道	乳母と私Ⅱ	2007	檜、漆、膠、白土、顔料	159.0	×	8.0
三輪途道	父子像Ⅱ	2007	檜、漆、膠、白土、顔料	159.0	×	8.0
松井冬子	同世代のエジプト人	2007	鉛筆・紙	43.7	×	36.7
松井冬子	トメス4世	2007	鉛筆・紙	36.2	×	44.1
カンノサカン	無題	2007	ウレタン、アクリル・パネ ルに貼られたカンヴァ	30.0	×	30.0
大竹利絵子	へび	2006	木	31.0	×	21.5
川島秀明	stare	2008	アクリル・キャンバス	50.0	×	72.7
日野之彦	パーマ	2007	鉛筆・紙	103.5	×	72.5
日野之彦	縞の服	2008	鉛筆・紙	101.6	×	50.4
会田誠	トラウマンボーイ02	2007	パネ、紙、色鉛筆、 水彩絵具、油性マー	36.5	×	51.5
会田誠&加藤愛	愛ちゃん盆栽(ほおずき) 小料理屋にて	2008	ラムダプリント	86.8	×	125.0
Chim Pom	イケてる人達みたい02	2008	Cプリント、DVD	31.0	×	31.0
加藤泉	無題	2009	油彩・カンヴァス	33.3	×	24.0
町田久美	ひとり	2003	雲肌麻紙・墨	130.0	×	97.0
森田恒友	漁村図	未詳	紙本墨画・軸	94.5	×	90.0
岸浪百草居	画卷(魚など)	未詳	紙本著色・卷子	24.0	×	625.9
津田青楓	山高水長画卷	1937	紙本著色・卷子	30.2	×	538.2
山口啓介	花の心臓 / 蕊柱	2003	油彩・カンヴァス	270.0	×	181.0
清宮質文	蝶	1963	木版・紙	24.6	×	22.1

4. 館蔵作品貸出状況

4-1. 館蔵作品貸出状況

作者名	作品名 (*印は寄託作品)	貸出先	展覧会名	会場・会期
ジョアン・ミ ロ	独り語る(20点)	DIC川村記念美術館	ムルロ工房と20世紀の巨匠たち	DIC川村記念美術館
		神奈川県立近代美術館		4.4-5.12
		島根県立美術館		神奈川県立近代美術館 葉山
		北九州市立美術館 分館		5.24-7.20 島根県立美術館 7.29-9.10 北九州市立美術館分館 9.19-11.3
南桂子	子供と花束と犬 雨の日 日本の木と少女 少女とたこ マロニエと少女	横須賀美術館	ほっこり美術館	横須賀美術館 4.18-6.14
アンディ・ウォーホル	花(全10点)	高崎市美術館	世界をポップに!! ポップアート in アメリカ	高崎市美術館 4.25-6.14
南桂子	2羽の鳥と落ち葉 樹木 少女 羊飼いの少女 海の塔 並木道 2つの町 魚と舟 少女と風せん 赤い魚 教会 鳥と花	須坂版画美術館	南桂子ーおしゃべりな版画たち	須坂版画美術館 7.1-9.15

作者名	作品名 (*印は寄託作品)	貸出先	展覧会名	会場・会期
南桂子	少女と小鳥と木 少女と落ち葉 少女と青い鳥 枝の上の鳥 2人の少女と風せん 花と鳥 みどり色の木 とぶ鳥 かごを持つ少女 湖畔 秋 月と城 少女と青い鳥 城砦 ポプラの木の下で 林と少女 風車 山の村 2人の少女			
フランソワ・ボンボン	ベルト・ボンボン ボール像 クロード・レイ	群馬県立近代美術館	アート・オブ・ライフ —生きることの美学—	群馬県立近代美術館 7.11-8.30
J.-J.グランヴィル	『生きている花々』 第1巻扉絵 ユリ			
J.-J.グランヴィル	チューリップ バラ スマレ マーガレット ツバキ オシロイバナ ザクロの花 オレンジの花 サボテン ダリア オジギソウ モモ ブドウ ワスレナグサ ジャスミン ライラック チュベローズと黄水仙 花たちの舞踏会 『フローラの神殿』 扉絵 ナンシーの庭の細部 チューリップ ペルシア・シクラメン カナダユリ オーリキュラ エジプト睡蓮 カーネーション			
ジム・ダイン	白ユリ ヒアシンス ブルー・パーッション・フラワー ゲットウ エジプト・ハス グリーン・リーフ			
トニー・クラッグ	花と蝶 テーブルと2人の少女 キツツキ 鳥と魚 2人の少女と猫			
南 桂子				

作者名	作品名（*印は寄託作品）	貸出先	展覧会名	会場・会期
南 桂子	花と蝶 花と蝶 庭園にて しだの中の鳥 サボテンと塔 少女とシャボン玉 花			
久野和洋	地の風景・雨後			
山口啓介	花の心臓/被子植物の空気柱			
金田実生	夜が少しづつ降りる			
伊庭靖子	Untitled			
ラウル・デュフィ	電気の精			
松江泰治	YEMEN 1991 #15 CANARY 1993 #35 CHILE 1995 #62 NEW ZEALAND 1996 #22 EGYPT 1997 #12 UTAH 1997 #46 MOROCCO 1997 #9 KOREA 1999 #5 TEXAS 1999 #61 ITALY 1999 #13 ALTIPLANO 2000 #19 ALTIPLANO 2000 #20 ARGENTINA 2000 #27 MONTANA 2000 #93 BALKAN 2001 #21 NEW BRUNSWICK 2002 #54 PRINCE EDWARD ISLAND 2002 #56 MISSOURI 2002 #63			
山口啓介	花の心臓/被子植物の空気柱 花の心臓/蕊柱* 花の心臓/炭素原子モデル*	いわき市立美術館	山口啓介原-ききとり 歩く方 舟、海を渡る星図、震災後ノー ト	いわき市立美術館 11.7-12.13
マックス・エルンスト	外壁のマスク	埼玉県立近代美術館	旅と芸術-発見・驚異・夢想	埼玉県立近代美術館 11.14-1.31
山口啓介	花の心臓/被子植物の空気柱 花の心臓/炭素原子モデル*	豊田市美術館	山口啓介 カナリア	豊田市美術館 12.19-4.3
ラウル・デュフィ	電気の精	アーツ前橋	田中青坪 永遠のモダンボーイ	アーツ前橋 3.16-5.17

5. 保存・修復

作者名	作品名	技法・材質	種別	処置内容
J.-J.グランヴィル	ラ・フォンテーヌの寓話 第1巻	木口木版・紙	版画	図版頁の分離と修復処理

B 図書資料その他

平成27年度 収蔵図書

種類区分	一般図書	定期刊行物	カタログ	年報目録	研究報告	その他	計
購入	168	85	21	0	1	0	275
寄贈	117	81	624	67	185	1	1,075
計	285	166	645	67	186	1	1,350

関係者および職員名簿

(平成 28 年 1 月 1 日現在)

群馬県立館林美術館作品収集委員

氏名	職名
染谷 滋	富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館 前館長
水沢 勉	神奈川県立近代美術館館長
横山 克彦	金沢美術工芸大学大学院専攻教授
天野 太郎	横浜市民ギャラリーあざみ野 主席学芸員

職員名簿

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

館長	佐々木正直
副館長	貝塚則一

＜教育普及係＞

教育普及係長	高田晴夫
主幹(事)	平野由紀夫
主幹(事)	田口博文
主幹(事)	齊藤由紀子
主幹(学芸員)	熊谷ゆう子
教育普及員	齋藤久美子
	澁澤友香莉
	羽鳥あゆみ
	最上雅世
	松本梨江

＜学芸係＞

学芸係長	神尾玲子
主幹(学芸員)	松下和美
学芸員	野澤広紀
資料整理員	伊羅子典代